京城日報
七月十六日夕刊（朝刊併せて八頁）
（年中無休刊）
本紙定價 一部金參錢 一箇月金七十五錢 郵稅一箇月金貳拾錢
廣告料 五號活字一行一圓五十錢
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直
印刷人 小川三之介
電話番號 長六千九三〇番 振替京城三〇三番

前獨帝引渡承諾
將校及妻女自殺す

聯合國の和蘭に對する非公式交渉の結果和蘭政府は前獨帝の引渡を承諾せり前獨帝はヘーグにて聯合國官憲の手に引渡さる可し而獨逸よりの報道に據れば前帝審問に關する發表ありたる後獨逸將校及其妻女は相踵いで自殺したり（アムステルダム電報）

墺委員覺書送附

伯林來電に曰く墺國講和委員はクレマンソー氏に覺書を送り講和の進捗を求め即時交渉開始の提議をなしたり（倫敦電報）

支那附加條件提議
＝日本委員不承認＝

在巴里支那講和委員より各國委員に對し講和條約に一種の附加條件を設け日本をして青島還附に關する詳細なる聲明をなさしめんとの提議をなしたるに各國委員は大體支那の提議に賛成したるも日本委員のみは其必要なしとし之を承認せざりしとの報道あり但し支那政府筋にては此報道を確認せず（北京電報）

總統和議問題聲明

南北和議問題は今尚行惱みつゝあり一說には錢能訓を起さしむべしとの議あるも決せず尚徐總統は和議問題に對し（一）北方代表は更迭せず已むを得ざれば臨時代理を派遣す（二）南方が提出せる七箇條を固執する間は再會し難し（三）開會期は政府の協定により定むと聲明せり（北京電報）

懷仁堂の大會議

徐總統は十四日總統府懷仁堂に特別大會議を召集對外問題國內和議問題、內閣問題に就き協議せるが出席者は國務員全部參衆兩院議長、副議長、參謀總長、段祺瑞、徐樹錚兩氏及び最高軍事外交顧問等なり（北京電報）

西岸航路愈實行
野田遞相の言明

野田遞相は牧山代議士に對し左の如く言明せり
第四十一議會に建議可決され又近く朝鮮商業會議所臨時聯合大會に於いて實行要望の決議ありし横濱對朝鮮西岸各港定期航路は九年度より開始すべく其補助費は來年度豫算に計上する事に決せり尚今年度も出來得るだけ引續き臨時船を派する方針にて船繰は拓殖局よりそれ〲寄航地に通知せしむべしと（東京電報）

帝國軍備制限問題
國際聯盟第一回會議＝軍備を如何なる程度に擴張すべきか

國際聯盟の成立と共に當然軍備制限問題に逢著せざるべからざるを以て我が政府當局に於ては來る十月の第一回會議に於いて如何なる意見を主張すべきかに就き目下內々調査中なるが軍備を如何の程度に定むべきかは更に重大なる問題にて島國的の防備を以て滿足せば今後の擴張は必要なかるべきも滿蒙地方を以て國防の第一線となすを要すとせば我が國の軍備は更に大いに擴張せざるべからず殊に西伯利及び滿蒙の交通機關を完備し歐米方面と滿足なる交通を爲し得るに至らば我が軍備は重大なる意義を有するに至るべく又飛行機自動車等の輸送機關發達に就ても益々是が對應策を講ぜざるべからず果して然りとせば幾何の陸軍を必要とするか現下の陸軍にては假想敵國と目すべきものなきを以て是が程度決定には當局も苦心しつゝあり又海軍に就ても多大の考慮を要するものあるが如し（東京特電）

伏見宮御歸京

佐世保海軍工廠に於ける球磨進水式に御臨場相成りたる伏見中將宮殿下には十五日午後六時下關御著山陽ホテルに御一泊十六日午後七時十分下關發列車にて御歸京の筈（下關電報）

樞府委員會續開

樞密院特別委員會は十五日午後一時より事務局にて開會淸浦副議長伊東委員長原首相其他列席前回に引續き朝鮮總督府官制改正案に就き審議し同五時散會せり（東京特電＝延著）

板伯薨去

正二位勳一等（大臣待遇）伯爵板垣退助伯は十六日午前三時四十分眠るが如く薨去せり享年八十有三（東京特電）

板垣伯敍位

十六日板垣伯に對し從一位に敍し旭日桐花大綬章を授けられたり（東京特電）

上旬對支貿易

七月上旬に於ける吾が對支貿易は輸出一千百三十七萬圓輸入八百二十七萬六千圓にして出超三百零九萬四千圓を示せり尚ほ一月以降の累計は輸出二億一千三百八十萬圓輸入一億三千三百二十二萬圓にして出超八千零五十八萬圓なり（東京電報）

東京金融週報

前週末に於ける東京組合銀行の帳尻は預金十五億九千五百三十二萬圓にして之れを前週末に比すれば二百二十九萬圓を增加し又貸出しは十四億三千二百八十五萬圓に上り七百零五萬圓を增加金銀有高は一億零二百七十五萬圓を示し三百九十四萬圓を增加せり貸出增加は引續き株界の好況なる爲此方面の資金需要にあり又金銀有高の增加は月末資金の回收の爲ならん（東京電報）

獨逸潛艇處分
研究上の價値

聯合國間に分配を受けたる獨逸潛水艦の處分に付ては現在の處本年十二月を以て各國何れも擊沈の事に決定し居れり其理由は該潛水艦等が大洋に出沒し航行中の聯合國商船に對し慘害行爲を逞しうせる點よりして之を殘存せしむるの人道上面白からずといふ一理由たるべきも其

實際の理由は

之れが分配より來る各國海軍力の權衡問題に在りて結局擊沈と決定したる次第なるも昨今聯合國側に於て擊沈反對論擡頭し居る模樣なれば當初決定通り果して擊沈處分を遂行すべきや否や目下の所疑問といふの外なく或は其儘受領國に於て利用するに至るやも知れず英國に於ては其分配を受けたる潛水艦は從來ハルウイッテル碇繫中也しも潛水艦なるを以て既に大部の潛水艦を屑鐵として民間に拂下げたる由なるが若し各國とも擊沈處分遂行となるに於ては帝國海軍が三百萬圓の廻航費を投じて鵬程萬里千辛萬苦を冒して漸く廻航し來れる七隻の潛艦（總價格一千五百萬圓位）をむざ〱擊沈するが如きは如何にも惜き感なきにあらざるも獨逸の戰時中建造したる潛水艦に就き其新工夫の設計裝置を十二月迄に調査研究し直ちに之れを帝國海軍に利用し得ると又帝國軍人が之れ等の

小艦を操縱し

萬里の波濤を蹴破して之を帝國の海岸に廻航し來れる航海上の經驗とを想へば縱令現在の規約に依り之が擊沈を遂行するも帝國海軍としては何等惜しむべきにあらず三百萬圓の廻航費を以て獨逸潛水艦の新工夫と航海上の經驗を購ひ得たりとせば之れ甚だ廉價といふべきなり（某當局談＝東京）

朝鮮上半貿易（一）
二億二千六百二十六萬餘圓
總督府關稅課長 矢鍋永三郎氏談

總說

本年上半期の朝鮮貿易は貨物及び金銀地金を併せ輸移出一億八十三萬餘圓輸移入一億二千五百四十三萬餘圓合計二億二千六百二十六萬餘圓にして前年同期に比し輸移出三千九百七十二萬圓

七割五分

（六割五分）輸移入五千七百四十六萬餘圓（八割四分）合計九千七百十九萬餘圓の激增を示し輸出入の差額は輸移入超過二千四百六十萬餘圓を計上せり詳細左表の如し（單位圓）

		大正八年	同七年	增減
貨物	輸移出	九八、四九四、四〇三	五七、九六八、八〇七	四〇、五二五、五九六
	輸移入	一二四、九五五、一二四	六七、七三六、一二六	五七、二一九、[illegible]
	計	二二三、四四九、五二七	一二五、六六五、〇〇三	九七、七八四、[illegible]
金銀地金	輸移出	二、三三七、七七〇	三、一七二、六九八	△八三五、[illegible]
	輸移入	四七九、三八三	二三六、六七三	二四二、[illegible]
	計	二、八一七、一五三	三、四一〇、三七一	△五九三、[illegible]
合計	輸移出	一〇〇、八三二、一七三	六一、一〇一、五〇五	三九、七三〇、[illegible]
	輸移入	一二五、四三四、五〇七	六七、九七二、八九一	五七、四六一、[illegible]
	計	二二六、二六六、六八〇	一二九、〇七四、三九六	九七、一九一、[illegible]
輸移入超過		二四、六〇二、三三四	六、八七〇、三六六	[illegible]

右表の如く休戰後の初年たる本年上半期の貿易は前年に比し著しき增進を示せるが更に之を大正六年の全年貿易額一億九千八百八十七萬餘圓に對比するも半期間に於て優に之れを超過せること二千七百三十九萬餘圓の多きに達せるの狀況にして其速度の急激なる注目に値す然も如上前年に對する

增加率が

輸移出に於て貨物七割の增加金銀地金二割九分の減少を示せるに對し輸移入に於ては貨物八割四分金銀地金一割の增加にして輸移出に比し其增進一層顯著なりしに依り輸移入超過額前年の六百八十七萬餘圓に對し本期に於て二千四百六十萬餘圓を計上せりと雖も要するに地方經濟狀態の向上並に資本の流入に伴なふ當然の結果にして必ずしも悲觀すべきの現象にあらざるべし蓋し客年末休戰後一時船舶及び鐵工業界の形勢變化より延いて反動的兆候を現はせし內地財界は本年に入り漸く安定を保ち同時に戰時中斷わず供給不足の狀態にありし食料品並に衣料其の他の原料品の需要引續旺盛なりしに方り一面朝鮮の產業は年來の施設著々其

步を進め 同時に戰時中勃興したる新規企業の進捗に因

全鮮種牡牛數

最近の調査に係る七年度末現在種牡牛數は道有種牡牛四百六十九頭、保護種牡牛六千九百三十五頭其他の種牡牛八百六十八頭合計八千二百七十二頭にして成牝牛八十三頭に付一頭の割合なり而して其種附總數は三十五萬一千七百八十頭にして一ヶ年一頭平均道有種牡牛は四千二百頭其の他の種牡牛は三十九頭にして平均四十三頭即ち成牝牛の約半數以上に種附得たる割合なり又全道種牡牛一頭の種附數の多きは京畿道の七十三頭慶北の六十頭、慶南の五十九頭少きは黃海道の十五頭、忠北の二十四頭、平北道の二十七頭、江原道の二十八頭等とす

總監校長招待

山縣政務總監は十七日午後零時半朝鮮ホテルに目下打合せの爲入城中なる各高等普通學校長並に望永、芳賀博士を招待し午餐會を催すべし

不輸出郵便
改正發布

支那宛通常又は小包郵便に依り支那に輸出することを得ざる物品に關する件の改正は十七日告示を以て發布さるべきが右は內地に於ける改正に伴なひ朝鮮に於ても其必要を認めたるに因るものなり

朝鮮產米增加方法（二）
十年後に於ける麥類大豆粟の生產消費及び需給狀況推測

米產額增加の原因及增收額（イ）水利組合の施設に依る干潟地の開拓又は個人事業に依る國有未墾（主として干潟地）の開墾に依り畓と爲し得べきものは（一）現在に於ける耕種の方法に依り反當一石の收穫を得（二）之れに金肥を施用し新種法を進め反當二斗五升を增收し結局一反步一石二斗五升の收穫あるものと推定す此の面積三二、五三二町增收額三八一、六五〇石
▲蒲考 金肥の施用に付ては一反步の水田に對し大豆粕二枚を用うるときは良水田に在りては反當五斗の增收を得べきも之に全部に此の如き施用を普及し得ざるものと見込み大豆粕一枚を平均に使用し反當二斗五升の增收あるものと推定す
又（ロ）田（畑）より畓に變換し又は草生地を開墾して畓に爲し得べきものは（一）現在に於ける耕種の方法に依り反當り一石三斗の收穫を得（二）之れに金肥施用其の他耕種法の改良に依り反當り三斗五升を增收し結局一反步當り一石六斗五升の收穫あるものと推定す此の面積三二、〇四一町增收額五二八、六七七石（ハ）現在の畓にして水利組合の施設等に依り灌漑設備を爲すもの又は（一）灌漑の改善に依り反當

區別	面積（町）	十年後一反步收穫高（石）	現在（石）	增收原因別 開墾灌漑（石）	金肥施用（石）	計（石）	增收高（石）
水利組合の開拓せる干潟地	六、五三二	一、二五〇	—	一、〇〇〇	二五〇	一、二五〇	八一、六五〇
個人の開墾せる國有未墾地	二四、〇〇〇	一、二五〇	—	一、〇〇〇	二五〇	一、二五〇	三〇〇、〇〇〇
水利組合の開墾せる草生地	六、四七〇	一、六五〇	—	一、三〇〇	三五〇	一、六五〇	九〇、二五五
田（畑）より變換せる畓	二六、五七一	一、六五〇	—	一、三〇〇	三五〇	一、六五〇	四三八、四二二
水利組合に依り灌漑設備を爲す畓	六八、一五七	一、六五〇	一、〇〇〇	五〇〇	三五〇	八五〇	五七九、三三五
堤堰洑の築造に依り灌漑設備を爲す畓	三〇、〇〇〇	一、六五〇	一、〇〇〇	三〇〇	三五〇	六五〇	一九五、〇〇〇
現に灌漑設備を有せる畓	三二五、三九五	一、六五〇	一、三〇〇	—	三五〇	三五〇	一、一三八、八八三
合計	四八六、一二五						二、八二三、五四五

▲備考 增收原因別の欄金肥施用中には耕種法の改良に依る增收を含む

米價自然
內地註文頻到 調節問題如何

米價は日に新價を現はし昨今の鮮米相場は定期も玄米も白米も未曾有の高値を唱ふるに至つた然し乍ら今日の相場は空前の高値なるも然も不自然の相場では無い世界的な物價の騰貴が內地の米價を暴騰せしめ而して內地からの米の註文が高値に朝鮮に入つて來るから自然鮮米も上げるのである現に鮮米の各港積出は近來餘程多いのであるが之等は全部內地の註文米であつて無論依託米の如きものでない然らば現在の米價は實に止むを得ざる相場と曰ざるを得ぬ之れを二三月頃にあつたやうな鮮米價格の割高なりし實情とは譯が違ふ從つて銀行として對米穀金融をなすに當つては少しく突飛に上り過ぎたと云ふ位の警戒でそれ以上どうすら事も出來ない譯である只米高が餘に急激なる爲之れを社會問題として忽諸に附し難いと云ふ意味より當局何等かの調節策を執らるゝとすればそは別物であるけれど砂糖綿絲布生絲その他各種生產品の騰貴に比し鮮米の四十二三圓が高きに過ぎるか否かは俄に斷じ難いものと思はる（某銀行家談）

仁川期米不勢

仁川期米に買熟狂のため十五日前場に於て先物四十一圓六十錢の高値を出したるが正米の實勢より見るも內地相場より見る

商品賣行活潑

米價引續き高値を現出し鮮人筋の懷具合は益々好況を呈し居れるため商品の賣行は活潑にして之れを兩三年前に比すれば隔世の感あり支那麻の如き上海方面より續々輸入し居れるも尚ほ同時に拂底の有樣なりと云ふが輸入品は總じて仁川に陸揚と同時に直に賣買成立の狀態にありと

京城地價續騰
最近益々高し

京城市街地價の漸騰傾向は頗る顯著なるものあるが銀行の土地金融活動以來著しく好況を呈し一面財界の繁忙なるに伴ひ地價は益々上向き然も買手少からず時に近く鐵路に於いては一種の事情は含まれたれど坪七百餘圓の高値にて賣買せられ京城地價の最高記錄を作れり又昨年までは入札その他の方法にて賣却せんと努めしに拘らず遂に果さざりし李王職所有東拓前の約六千坪も將來注目者漸く多き氣先京城現株市場の計畫生れ同市場の敷地としては交通の至便なる街の中心點なる同周圍に餘き事等より見て東拓前の外適地なく市場發起人等も亦密に李王職との間に土地の買內約をなせるやの風聞もありそれらは土地注目者の氣勢を煽り該土地約六千坪は殆ど餘地なき迄に至り李王職の賣價は七十圓見當なれど昨今坪百圓內外を唱ふるに至れりその他の土地も買望み多くして賣物少く殊に內地方面よりの手出しもあり目下一段高を豫期されつゝありと

電信科生卒業
滿鐵

京城鐵道學校にては十七日午後二時より同校講堂に於て電信科卒業生二十七名に對し證書授與式を擧行すべく久保局長其他各課長臨席の筈因に同校にては十九、二十日の兩日有電信科生徒入學試驗を執行すべし

加平郡繭販賣
京畿道

加平郡にては十五日午後一時より繭共同販賣を執行したるが繭の出廻り高五百十八石に達したり其の販賣價額は又昔一等繭百二十三圓七十錢、二等百十三圓五十錢三等百三圓、交配種白繭一等百十四圓八十錢、二等九十九圓十錢、三等九十四圓五十錢交配黃繭總平均九十七圓にして山十組、片倉組、福井商店等に落札せり

福井縣會議員
福井

福井縣會副議長渡邊德吉外縣會議員六名並に同縣廳の一行を以て組織せる鮮滿支那觀察團は日本海橫斷航路にて十六日朝元山上陸同夜入城三泊の上北行すべし

惡化せる排貨
煙草打擊甚大

山東に於ける日貨排斥は屢報の如くなるが今茲所に達せる電報に依れば特に打擊の甚大なるは煙草にて左に各方面に於ける情報を記すべし

恩縣 地方は從來各地中最も平穩にして我煙草代理店は孰れも滿足を表し居りしも近時學生團は連日代理店に迫りて日貨取引を停止するを以てし永遠に日本人と取引するを許さず若し聽き入れずば家屋と共に日貨を燒棄すべしと脅迫せるを以て恐怖の餘り解約の意を表せり

臨淸 地方は一層惡化し來り販賣員の鄕村出張不可能となり各鄕村の關連長は貨を出すことを停止し極力排貨に努力しつゝあり

鄭家口 附近は學生運隊と志氣を通じて排貨を煽動し、各所に貼付せる貨の辻貼廣告を悉く破毀する等其の橫暴到らざるなく住民亦之れに附和雷同し一齊に日貨排斥を唱道するに至り且日來貨會社々員の各鄕村に出張するや過重の稅金を要求し且つ掠奪し兼ね間敷き形勢なるを以て直に退去せるが之が爲め貨の賣行は全然停止の有樣也

臺莊 地方は最初排日氣勢未だ濃厚ならず惡化の恐れなきを期待したるに頃日來俄に險惡に赴き日貨取引者は附近より交際を斷たれ我貨代理店の如き最も大なる迫害を受け賣行停止の爲め缺損を被れるのみならず將來各所との取引上に惡影響を及ぼす恐れあり何時解約を申し込むや測り難し

普通校長會議

十六日午前十時より總督府第一會議室に於て高等普通學校長打合會を開き學務局長弓削課長上田視學官其他出席諸般事務上の打合をなしたるが右打合會は尚三日間繼續開會さるべしと

水產課長任命

七月十六日附左の通り辭令ありたり
總督府事務官 神田純一
農商工部水產課長を命ず

穀物協會總會
仁川發

仁川穀物協會にては十七日午後五時より瑞穗樓に於て定時總會を開催八年度上半期決算に關する件八年度下半期豫算に關する件及び會長の選擧に關する件等を附議すべく會長の選擧は前會長奧田貞次郞氏の辭任と共に當然之れに代るべき人物を選任の要あり而も右人選は困難を感じつゝあるもの、如し

海員生徒募集

來る九月より養成を開始せんとする遞信局の海員養成所は過般職員の任命を終り規則も既に制定したるに付近く生徒の募集に取り掛るべき豫定の由

濟寧

地方は支那官憲の暗中煽動の形跡あり學生閉鎖の後尚ほ何等取締る所なきに依り彼等の放肆益々助長し近く日貨販賣所に開門販賣を許さず燒却又は罰金を課し全然引拂ひを強制す

徐州

地方は一時比較的鎭靜に歸したる排日騷擾も其後反動的に稍下火となりしが六月二十六日より再び學生團の蹶起する所となり小旗を持ち到る所に大道演說を試み日貨排斥勢ひを得つゝあり

人事消息

▲今村邦爽氏（京畿道事務官）十七日加平郡より歸任
▲本田幸介氏（水原勸業模範場長）十六日朝入城巴城館へ
▲納富重雄氏（農商務省臨時產業調査會技師）十六日朝釜山上陸十時急行にて北行（釜山特電）
▲愛知縣安城農林學校生徒修學旅行團一行三十名は來る八月二日來城すべしと
▲山本五郞氏（住友倉庫支配人）天より十七日朝來城の豫定
▲大阪市立高等商業學校生徒十餘名二十八日來城市內を視察すべし
▲安藤又三郞氏（京管運輸課長）十五日夜新義州へ

八面鋒

◇板垣伯病む維新の功業は云ふも更也而も恬淡迎合を事とせず
◇自由の先驅と成功又に晩れし岐阜の[illegible]は伯一代の光彩
◇高風淸節俗流に不媚自由魂の孤城十年一日其風格欣ず可し
◇白米一升四十五錢と云ば一圓に二升也生活難の叫山野に滿つ
◇野に菜色有上司如何に之に對せんとする速かに法を講ぜよ
◇大工左官等の手間賃は總て時代一日米三升と定まり居れり
◇米一升が四十五錢となりし今日にては彼等日給一圓卅五錢
◇半纏著に手錢を拭で平氣な彼等の生活に反し安月給取連は
◇少くとも洋服袴にて其體面を保たざるべからざるは氣の毒
◇茲に於てか即ち所謂洋服細民の起る所以有識者は何と見る
◇然ども生活難の叫高きと共に其裏面には物質主義の横行在り
◇近來國民經濟思想の進步し來りしは何人も疑を可不容
◇夫と共に物質主義中たく云へば拜金思想も充分跋扈し來る
◇今日物價調節問題の八釜敷も一面より其反映たる觀あり
◇何となれば今日の生活難の聲は不況時代とは趣を異にす
◇不況時代の生活難は食ふ食へぬの問題にして限うるか否也
◇今日の生活難は美味を食ふ食はぬと云ふ問題が主なるが如
◇眞に食ふに困ると云ふ事は仕事の無き場合に起る問題なり
◇今日の如く身體及頭が滿足ならば相當仕事ある場合に於て
◇食ふに困ると云ふ譯は無く決心次第にては生活も安全
◇この意味に於て立論する者有兎に角一說として參考に供す
◇斯く申すとて政府の放任策や資本家の横暴に肩持つ者に非

致富秘訣 金を殖やす法（無代進呈）
[illegible]

十俵搗6百俵搗迄 動力附水車兼人力用各種
代金は後拂實驗後 月賦割拂の便法有 詳細說明書呈
製作發賣元 大阪西區市岡町 東亞物產社

▲冬物開荷▼
品目 メリヤス、帽子製造、毛織物及 綿布類、加工品全般
▲相場表は御申越次第進呈仕候
卸問屋 釜山 今野老山商店

統營螺鈿漆器 入荷豐富
（統營漆工株式會社製）
御散步がてら御高覽願上候
京城本町二丁目八六 富田京城出張店 電話長五四番 振替四五六八番

御進物やおみやげは
名菓 金剛山に 金剛飴
殊に內地には……
京城本町 亀屋商店 電話 二十七番 四七五番

時間表
京釜線 北行 [illegible]
南行 [illegible]
仁川線 [illegible]

盛んな子供相撲 旭町護國寺境內に夕方のそゞろ歩きの序に立寄つて團扇片手に見物するも亦一興であらう、此處はパイン萬年筆製造元が非常に力瘤を入れてゐる

戰利獨艇を觀る（二）

罪の深い零二號艇（上）

多喜丸や平野丸の敵 把手一つで自由に操縱

戰亂中に於て最も暴威を逞しうしたものは即ち零二號艇である山本松昌洋行の所有船たる多喜丸が空しく海底の藻屑と消ね果てたのも彼れが爲めである平野丸をして危機に瀕せしめたのも彼れであつた此の最も罪科深い零二號艇乘組の某將校は一々詳細に說明を爲しつゝ記者を內艇

限なく案內 した即ち該艇は獨逸のダンチッヒ造船所に於て作製されしものであつて千九百十六年に於て始めて就役したのである型式はグルマニア型であつて船體は複體となつてゐる是は尤も該艇のみならず獨逸に於ける潛航艇は悉く複體になつてゐるのであつて即ち外殼と內殼とに分ち其

內殼の厚 は實に約二百呎の水壓に克く堪へ得べきものである外殼の下部中央にはギールタンクを備へ其右方にはバラストタンクの裝置がある猶各部分に依つてはチヨウセイタンクを備へ內外殼と上甲板との中間は自由に海水の出入をなさしめ樋又は甲板洗滌器等は此處に設置されてゐる內殼は七室に仕切つて其艇首より第一次の室が

水兵室で 十二名の 水兵は此處に起臥してゐる而も同室は四門の水雷發射管が裝置せられてゐてタンクの作用は此の四門を一時に發射してもさまで艇體の動搖を來さぬやうになつてゐる其の次が艇長室即ち艦長室であつて此の室は狹小ながら鐵の扉に窓掛けあり大なる鏡は寢臺の前に備へられて其の他の裝飾等は道に宏大なるものがある次が

士官室で あつて其の次の即ち第四號室が准士官室となつてゐる此の室の下底には百十二のチユードル式二次電池即ち蓄電池の仕掛けがあつて第五號室は操縱室となつてゐる即ち全部の操縱器は此處に蒐集せられてゐて潛望鏡等は僅に把手一つに因つて上下する事が出來る艇首に向つて右方には聽信室がある此處には

無線電信 及び水中信號の設置がある第六號室は下士官室であつて最後が機械室となつてゐる此室にも二個の水雷發射管があつて二千馬力の二臺のヂーゼル機械はドロ〳〵した黑い重油の力に依つて回轉を開始するのである此の機械は內火式であつて水上に用ひされてゐるが愈々潛航の時になれば四臺の電動機に依つて航進を始むるのである原動力は即ち全部で二百二十四個のチユードル式二次電池であるが少しの爆音も立てずに自由に操縱が出來るのである

凱旋終る

記念撮影を天覽に供す 小倉師團

出征第十二師團野砲兵第十二聯隊本部及び第二大隊第一第二中隊將校以下下士卒二百四十五名馬四五十八頭は去る十一日浦鹽發十五日午前七時門司入港凱旋したり是を以て第十二師團出征部隊全部の凱旋を了したるを以て盛大なる最後の歡迎行はれたる由尙ほ當日午後六時より師團偕行社裏手に於て各聯隊軍旗の記念撮影を行ひたるが該寫眞は不日天覽に供せらるゝこととなるべし（下關特電）

過激派列車襲擊

線路を破壞し列車を顚覆せしむ 我軍死一傷十を出す

陸軍省發表 兵站監部岐中尉一行は十一日浦鹽出發スパスカヤに向はんとし十二日午前一時十五分頃列車がスパスカヤ南方五粁の附近に到着したる時敵の爲鐵道を破壞せられ又同時に敵の襲擊を受け貨車二臺顚覆し死者卒一名負傷十名を出せり負傷者は卒六名、擔架救護班看護卒三名通譯一名にして之が爲列車通行を阻止せられたるが正午イボリトフカに到達したり（東京特電）

仁川白米騰る

一升四十六錢

……い事である何を云つても三等飯米……力が四十一圓五十錢之じや小賣……厘の四十六錢はまだ安い處で上……い四十六錢と云つても掛賣りは一錢高位であるから値四十七錢の米を食つてゐる譯である

大相撲雜記

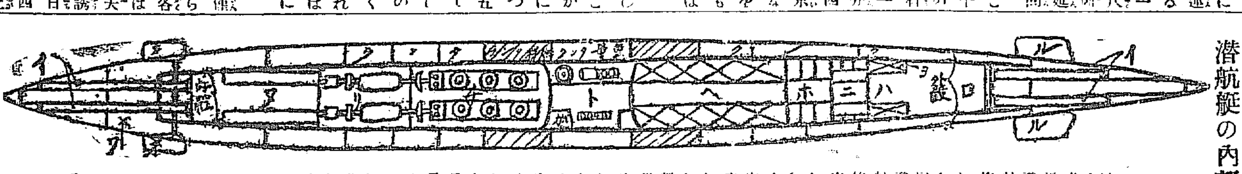
……方から大錦と云ふ三横綱の土俵入りを見る事が出來ると云ふので前景氣からして素晴らしい……甕州の兩地に分宿したので自然と兩方に贔屓が分れたのは人情の然らしむる處であらう▲殊に……は三千の見物を大向ふに廻して盛んに彌次り散らしたのと東雲の……しめた▲二日目も本社安東支局のお好みの外に二つお好みが出る筈であつたが天候が少し怪し……相撲は二日目朝來の雨で沿延客が來なかつたけれども先づ九分の大入りであつた（安東縣）

市民一日の汚物が

擔ひ桶で六千個ある

一年分で釜山新義間に桶が並ぶ

人口の增加に伴なつて京城市民の臀部から排泄せらるゝ糞尿や、此の增加する家々から又は **街路や公園** より吐き出さるゝ塵芥は右と正比例に增加し昨今糞尿の如きは日々九百石から汲み出される馬車一臺には三石しか積めないから右の運搬にだけ三百臺の馬車を要する譯である之れを行列する時は一日の桶數六千個桶一個の徑一尺二寸にして延長七千二百尺一箇年總桶數實に二百十九萬此の延長約二百里殆んど釜山新義州間の **擔桶の行列** が續くことゝなる又塵芥の如きも一日千二百石の多量を排出するのであるから馬車四百臺の積載量を有する次第で之れを陳列すれば一臺の長さ九尺五寸として一日分延長三千八百尺一箇年輛數十四萬六千此の總延長約一百里、京城釜山間の連續を見ることゝなるに至つては何人も鼻をかざるを得まい之れが掃除の任に當るものこそい、災難で大抵な事ではあるまい、そこで今回 **自動車二輛** を購入し之等の運搬に從事せしむることになり、內一輛は今十七日から運轉することになつた、是に就き京城府越川衞生主任は語つて曰く除穢事業には一日人夫五百四五十人と馬車六十臺とにて夫々毎日此穢い仕事に從事して居りますが近來農家の景氣の宜しき爲地方よりは出稼者少く之に反し各種事業の勃興に連れ人夫の需要は到底昨年の比ではない先日西伯利に米を送るのに精米所の混合物の選別に **工女を募集** したが僅々三四十人の工女を得るにすら困難したと云ふ有樣で勢ひ各請合所にさへ近頃は屢々人夫誘拐人が還つて來ます夫れで今日市中の一般人夫賃は三四月頃四五十錢位であつたのが漸次騰上つて今日では八十錢から一圓四五十錢を普通とするに至つた、そうなると官廳では **豫算の關係** で個人の事であるから一人僅十錢宛增しても一萬七八千圓を要し、市中の相場と匹敵する一圓內外とせば約十萬圓を要する殊に本年度からは從來の請負ひを府直營となし自ら人夫を募集することとし請負者が **利得した分** を人夫に給する計畫を立たので人夫賃は前年に比較して一人當り十三錢の增加したが之れとて最低五十錢最高七十錢平均五十五錢と云ふ有樣で市中の相場とは餘りに間隔あつて人夫拂底の今日にあつて其の募集は到底普通の業ではない、我々は或時は酒fig或時は下宿屋に或時は街頭に或は附近の田舍に東奔西走低頭平身殆んど拜まんばかりにして漸く **三百名內外** を雇ひ居る次第であるが何分汚い仕事の事とて一旦募集したものも永らく續くものは少く日々新なる人夫を使役するが爲め人夫不馴れより往々掃除を怠り又は器物取扱上の不注意より市民の叱言を招くことあり監督者の骨折は市民の想像以上であると



潛航艇の內部

（イ）魚雷發射管（ロ）同發射管室（ハ）士官室（ニ）艦長室（ホ）士官室（ヘ）兵員室（ト）發令所（チ）主機械室（リ）主電動機室（ヌ）後部士官室（ル）横舵（ヲ）縱舵（ワ）推進器（カ）無線電信室（ヨ）聽所（註）以外の椅子司令塔、潛望鏡、無線指示浮標、防禦網切斷機、驅逐艦潛水器、調整タンク、釣合タンク等は該横斷俯瞰圖に現はし難し

撒水自動車は駄目

用水が無い 調査は出來たが

照込んで埃が立つと撒水の有難さが分かる京城府の現在は人車と馬車で撒水をやつてゐるが水がないので困つてゐるらしい現京城の撒水路は四間幅の大道路だけで九千九百五十間の延長かあり坪數にすると三萬九千八百坪の廣さがある一坪に一回八合當り撒くと一回が三百廿石になる日に七回撒くと二千二百四十石の水を撒く譯である府の撒水自動車計畫も調査は全く終つたが此水を得る設備が出來ない以上自動車を使用しても何の効果もない從つて撒水自動車の話も本年は纏り相もないと云ふ事である

子供の命を奪る疫痢

患者が出た 即日死亡す

市內和泉町官舍片岡かず子（三歲）は十二日疑似疫痢と診定直ちに田中丸病院に入院せしも同日死亡せり

果物は禁物 寢冷も惡い 某醫師談

目下子供に一番危險なのは疫痢であるが徵候としては始めは下痢と胃の痙攣を起しその症狀で半日も經つと脈搏が非常に惡く衰弱が甚だしくなると云ふ場合に於て試みに腸洗滌を行つて見ると粘液や **櫻桃の核** 枇杷の皮などが出て來る併し腸を洗つた結果幾分熱も下がり精神狀態も明瞭になれば宜いが、尙ほ精神が朦朧として四肢にはチアノーゼ、（暗血狀態）を呈するやうであると如何に强心劑を注射しても腸中の毒素を薄める方法を施しても一晝夜乃至 **三晝夜位** で死んで仕舞ふ斯ういふ病狀は三歲から六歲位までの間に多いのである、前日バナヽを三四本も食たと云ふ子がその翌曉から下痢を起し何となくボンヤリして睡いやうな有樣をし時には嘔吐をすると云ふやうなことから次第に前記の症狀を呈した際には先づ **殘念乍ら** 助かるのは百人に對する一割にも及ばぬ位である、夫れ故子供が果實を食ると云ふことに就ては母は深く注意しなければならない同じ果物でも櫻桃、枇杷バナナの如きは何れも不熟の物を樹からもぎ取つて店頭に置かれて赤く熟したもので **直に醱酵** し黴菌が附き易くなる、それを消化力の乏しくなつて居る腸胃に詰め込むのであるから病氣の發生するのも仕方がない中流以下の子供は蜜豆氷小豆等を食ていつも失敗する、是れも注意しなければならない、すべて子供の間食物は店屋物を買はずに家庭で母親が **吟味して** 造る方が夏は殊に宜からうと思ふ尙食物に注意を要する以外に寢冷をしないやう注意するのが肝要である

江上に漂ふ燈籠船

十五日夜の精靈流し 見物の群衆二萬を超ゆ

十三日精靈を迎へた家々では十五日夜半を回れも魂送りの佛事を催したが故鄕の習慣を重んずる長崎の近在の人々は漢江で精靈流しを行ひ亡き人の魂を送るのであつた、 **常は淋しい** 龍山電車も是等の人々や見物の人々を絕えず吞吐した燈籠流し待つ間を材木の積重ねられた上に据して萬賴の川風を恣まに兩の袂にふくらませて涼を入れてゐるものもある夏帽束髮丸髷銀杏返し、お下げ、香水の匂ひ、白粉の香元町四丁目江岸一帶は素晴らしい群集である、十八日の月は河沿ひの柳の上に登つて **穩かな水上** に飴色の影を落してゐる、八景園樓上でさんざめく朝鮮人の絃歌は江上に泛ぶ遊船の大鼓の音と相應じて情景を昳つた十時頃から魂送りの人達は漸次增加する。大きさ一間乃至二間もあらうと云ふ船の中には精靈物が夥しく積まれて中には放生の鯉などが首を長くして這ひ廻つてゐる、 **中央の帆に** は『極樂丸』だの『西方丸』だの大書し、その左右には『一切衆人』『皆應供養』など認められたのもあつた、大きいのになると岐阜提灯を十餘り吊るしたのもあり無數の紅提灯に大きな金燈籠を飾つたのもある、中にはお題目を稱へて鉦や太鼓で囃し立て來る賑やかな一團もある、十一時過ぎ一ツ二ツと小さいのが江上に流されたのを機會に **供養の人達** は遠く點々と浮かぶ船の灯は水に影を落して一顆り江上に漂よつた、十二時過ぎては精靈流しを出して壯觀と云ふよりも寧ろ哀愁の感を深からしめた黑ずんだ水に映る月光は蒼白く、白々明けに逃れ行くらむ人魂とも見ねて女子供の襟を搔合さしめた、午前三時漸く終了、夜露はしつとりと水を打つたやう、群衆は實に二萬を越えた

慈善畫會々費 來る廿、廿一の兩日長谷川町銀行集會所に於て開催の筈なる日本育兒院二十五周年記念慈善畫會は京城官民多數名士の賛助を得趣意書會則の草案中なるが右會費は多分一口に付五十圓及び三十圓なるべく作品は尺五寸巾長さ四尺五寸の絹本一枚宛にして抽籤頒布の法を採るべく尙開會日出席の會員は短冊、扇面、色紙に限り一口一枚宛耕畝諸伯の席上揮毫を進呈すべしと。尙ほ耕畝諸伯は浦尾旅館に五十嵐晥長は清光館に滯在中なれば特別揮毫希望者は右兩旅館の何れかに申込まるべしと

米の廉賣問題

實行しても餘り効果はないと金谷府尹語る

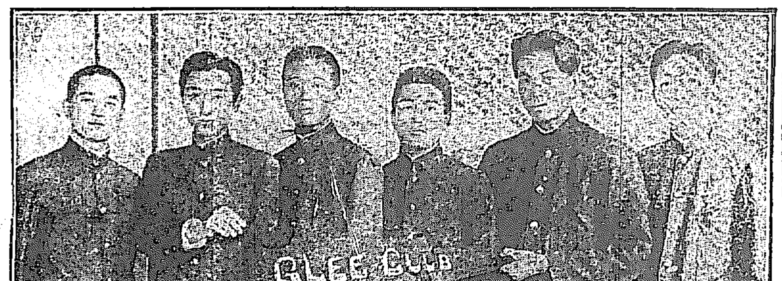
米價の狂騰が天井知らずで昨年の殺人相場だと云はれた四十三錢は疾の昔に通り越して一升四十七錢と云ふ高値を現はしたので下層の勞働者や中產階級は生活上非常な脅威を感じて居る、從つて一部市民は是が救濟策として白米廉賣を叫ぶやうになつたが右につき金谷府尹は語る『米價狂騰に對する應急策として廉賣も一策であるが唯今府として何も考へてゐない由來廉賣の如きは非常手段である上適當に調節の目的を達し難いものである夫れで自分は寧ろ一日も速く外米を輸入し大局から米價の調節を圖る事が最も好いと思ふ次に各銀行會社工場は使用人の生活安定の爲め臨時手當の增額を遣つて欲しいと思つてゐる』

脅迫されて登校を見合す

全州高等普通學校及び農業學校生徒は十五日より暑中休暇也と稱し一齊に登校せず原因は他地方より全州に入込み來れる者に脅迫されたるに由ると（全州特電）

安東縣の火事 十四日午後九時半頃安東縣市街通街賢商莊益號方より出火し消防に努めたる結果同十時半鎭火したるが多數の質物を消失したるため損害約一萬圓にて原因不明目下取調べ中（安東特電）

料亭荒しの賊 茨城縣結城生れ當時住所不定の渡邊國三郎（三七）なるものは窃盜前科四犯の曲者なるが賑町大船樓にて遊興せる擧動不審の點多きより引致取調べたる過去月十日夜中下壜下汀菓子店方に忍び入り現金二百三十五圓を竊取して逃走し京城新町某料理店にて衣類數點を同南山町料理屋にて寫眞機一個を竊取したることも發覺したるが尙ほ餘罪ある見込にて取調べ中（平壤）



十七日入城するグリー演奏團

（右）より陳、顏（清忠）、古市、山口、湯淺、田島の諸氏

泥醉して自殺 新義州老松町飲食店金在順の妻尹姓女（三五）は平素酒亂の癖あり持て餘し者なりしが十三日夕刻泥醉して歸宅せし爲め金は其不都合を詰りたるに臺所より刃渡り八寸の肉切り庖丁を取出し右乳下に突立て自殺を企てたるも死にきれず其筋の臨檢を受けたるが生命無事（安東特電）

映畫招待會 久保滿鐵京管局長は十九日午後八時當地官民數百名を朝鮮ホテル內ローズガーデンに招待して金剛山の活動寫眞を映寫觀覽を乞ふ筈なるが尙廿日夜より向ふ十日間晴天に限り同所に於いて公開する由

游泳中溺死 十五日午後四時頃龍山軍司令部小使五名打伴れ漢江鐵橋百米突下流の左岸に游泳中經理部小使上尾勇（二九）は誤つて溺死したるが本日に至るも未だ屍體を發見せず

音樂團と本社 同志社大學音樂團は十八日（金曜）午後三時本社を訪問し社內來青閣に於て社員の爲めに演奏すべしと

元山行割引券 滿鐵京管局にては元山海水浴に遊覽の爲め本年も昨年通り南大門元山間の臨時列車を運轉し割引往復乘車券を發賣する事となりたるが近く發表を見るべし

◎東雲畫伯展覽會 京城在住畫家淸水東雲氏は久々にて展覽會を催すべく本春來揮毫に着手中なりしが略ぼ揮毫を終りたるを以て愈々近日開催の筈なるが出陳の主なるものは金剛山及び朝鮮風俗にして何れも入念の作なりと

灯ともし頃

▲此程麻浦監獄で服務中の松本看守が囚人に殺害された、つい其一時間前の事である、同監の內田醫官が松本看守のところへやつて來て『おい松本君君の親友で平壤監獄に勤めて居る清水看守は囚人の爲め殺されたよ』と知らせた▲『それは氣の毒な事をしたね』と話し合つて一時間も經つた頃松本看守が圖らずも囚徒の兇刃に斃れた▲而も其の殺された場所が一時間前に相語つた處なので內田醫官は感慨無量、何だか因緣が有りそうだと云つて居た▲十六日は藪入り、呉服商は一般に『京龍同業店員慰勞の爲め休業』と貼り出して休んで居た其他にも本日休業の木札を掲げて大戶を下してる商店も尠くなかつたが▲一番振つてるのは明治町の旭屋で大戶へ紙を張つて曰く『地獄の里も休む日今日は旭屋も休み升』は茶氣滿々

仁川期米

十六日後場 ……圓〆七錢と反撥せしも阪地の伸惱みに四十四圓九十八錢と打止め

十六日後場 寄付 四十四圓九十九錢 高値 四十四圓九十八錢 ……

演藝案內

喜樂館（有樂館改）本町一丁目 電話九七番 ○當る七月十一日より引續特別興行 ○實寫 犬の曲藝 米國ヴ社特作 滑稽 豚の昂天 **陷穽** 全五卷 佛國人情活劇 大阪每日新聞連載 政府の注文に接し製作されたる諜報劇 皆様のお待兼の **水戶黃門漫遊記** 第二回 全五卷 ……

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇 七月十六日午後六時より開演 大阪娘義太夫竹本彌榮子一行 四日目語物 ▲御祝儀 入船 竹本入登 ▲忠臣藏 三段目 門 竹本彌榮 ▲朝顏日記 宿屋 竹本彌勇 ▲一ノ谷 二ノ中組打 竹本彌秀 ▲お駒才三 鈴ケ森 竹源之助 ▲八陣 八ツ目 豐竹雅 ▲阿波鳴戶 八ツ目 竹本龍光 ▲義經千本櫻 鮨屋 竹本彌榮子

大正館 黃金町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店 當る十一日より特別大興行 ……第七回 七眞珠 四卷 ……

千鳥の唄 全六卷 ……

浪花館 京城壽町 電話二六〇 納涼興行諸藝大會 當る七月七日午後六時より開演 ▲落語 笑福亭笑太郎 ▲落語音曲 松廼家六三 ▲浪花節 橘家坊 ▲落語手品 笑福亭笑三 ▲娘義太夫 桂松平 ▲落語 豐竹春之助 ▲相撲甚句 川柳圓右衛門 ▲落語歌舞 桂三郎 ▲餘興茶番劇 樂屋連中

毎月丸

月經不通を快く通じ 月經不順を快く調へ 月經困難を快く治す 月經の滯を通じ月經不順に伴ふ子宮血の道、頭痛、眩暈逆上等を良治す。又持藥とせば瘀血を下し月經異動・子宮病を治す。

本舖 大阪京町 丹平商會藥房

高橋盛大堂藥局試驗部創製

腸清 チヨーセイ

高貴藥配合 最新良劑

輕きは一回にて 重きも二回にて 大効あり

主効 ●腸加答兒 ●痢病 ●霍亂 ●裏急後重 ●寢冷 ●水瀉 其他諸病より起る一切の下痢に用ひて大効あり

特長 ●清腸で、くだりを止た腹工合のイヽ事

價廿錢、卅錢、五拾錢、壹圓、貳圓

本舖 大阪市堂島元蜆橋 高橋盛大堂藥局

發賣 同心齋橋筋博勞町 高橋盛大堂分店

同 東京市神田柳町 高橋盛大堂出張所

同 上海英租界交通路 日信大藥房

●到る處の藥店にて販賣す

殺菌性に富める!! どりだくめ

晴一時曇

京城氣溫（攝氏）……

西曆一九一九年七月十七日 舊曆六月二十日

▽日出 午前五時二十四分 ▽日沒 午後七時五十一分

滿潮 仁川 午前七時三十五分 午後七時五十五分

第五版

對支貿易振興(こ) 總稅務司制度

（二） 野波關東都督囑託（寄）

我が對支貿易壓迫の表裏

我が對支通商は、支那海關に於ける絕大なる英國勢力の下に常に大なる壓迫を蒙りつゝあり而して常に其の自然的發展を阻止せられつゝあるの事實は一たび中支、南支の地に臨みたる人の均しく痛感するところたり。皆我に峻嚴なる、素より言語國情の相異、我が商人の不注意にも因るべしと雖も、而も彼等が根本的に我を商敵視し、事毎に其權力を利用して我を窘迫し、一方稅關の樞機には自國人又は之に準ずるものを配して英國商人の爲には貨物の無檢查通關を許す等あらゆる手段を講じて自國商を庇護せんとする情狀歷然たるものあり。而も此等不當の所置に對して抗議を挾まんか其の交涉に日子を重ね、商機を逸し加之徒に經濟上の損耗を重ぬるに過ぎず、得て利するところなきに顧み我が貿易業者の多くは衷心の忿懣を押へて隱忍屈服するを常とす。偶々有力なる商賈の領事館を通じて之を詰問するあらんか彼等は答へて言ふ『我等苛酷ならず又不當ならず貨物の停滯する所因は不正なる日本商人にあり、吾等は支那の官吏にして執務公正なり、乞ふ我等の權限に立入るを止めよ、而して日本貨物中より屢々不正品を出す如きことなからしめんことを』と言や眞に巧なれども一たび秘密の扉を排せんか、隱約の裡に外商の魔の手が此等公正なる官吏を操縱するの暗影を發見するに難からざるべし。別紙附錄テーラー氏發表の意見書の如きは有力なる證據なり。

外人の配置と總稅務司

海關局部の問題は暫く措いて問はず、今はただ支那四十八海關の總指揮官にして支那四十八海關の生殺與奪の全權を一手に把握せる總稅務司が如何に專橫にして偏頗なるかに關して我が識者の注意を喚起すれば即ち足る。最近發表せられたる支那海關職員錄を見るに、支那海關に於ける外國官吏は內班二百三十六人、外班七百七十五人、港務部若干人にして、內日本人は內班五十八人、外班百四十五人を數ふ。しかも其の地位何れも極めて低し。乃ち、支那四十八海關中、日本人の海關長たるもの青島、大連、萬縣の三にして此の中、萬縣は其の貿易額極めて少なき無勢力の海關なり。然るに英人にして海關長たるもの三十三人、內二十八人は稅務司にして九人は署稅務司たり、又副稅務司三十七人中、日本人は僅に二人のみなるに英人は二十九人（殆ど十五倍）なり。更に外班に就て見るに其幹部とも云ふべき幫辦格檢查官は英人百二十五人に對して日本人十七人而して外班の主腦にして最高指揮權を有する外務部長並に貨物評價官に至りては日本人の之に當れるもの一人もなし、其の他海關の管理に屬する沿岸の燈臺及び海關巡邏船を統轄する港務部の任務は通商航海上頗る重要なる意味を有すれども是等の部門に勤務する外人百餘人中日本人一人もなし。更に長江、運河其他の水先案內これ亦航行船舶の死命を制する點に於て頗る重要なるものなるに日本人の之に從事するもの僅に三人に過ぎず對支通商に於て第一位を占むる我が國人が、支那海關に於て斯の如く無勢力なる結果を示すに至りては吾人總稅務司の專橫偏頗を疑はざらんと欲するも能はざるなり。

北滿風雲錄 前途益暗澹 危機日に迫る…吉林近情

衞戍總督任命 孟將軍より鄭省長に引繼ぐ可き臨時督軍署理は鄭氏の固辭により行惱みの體にて事實上治安の責任者なきとこ省民の不安を考慮し第二旅長高士濱中將を衞戍總督に任命せり

軍需品大輸送 九日より日々馬車の徵發を運搬しつゝ吉林軍は晝夜軍需品を驛に運搬し貨車の有るだけを要して吉長より大輸送を行ひ爲めに材木業者其他の荷主へは貨車の配給絕無にて非常に困難し居れり

更に代表者を 省議會以下の十團體より徐總統及張作霖に發せし陳情電報に對しては未だ何等の消息もなく十二日午後四時更に委員を選び奉天に派遣したるがそは省議會正副議長及團體領袖等八名にして孟派に非ず張督側でも無き中立の者を選び特に省民を代表せしものなりと（吉林）

強奪的の徵發 馬車被害頻々 支那兵及び巡警等は至る處に於て馬車の徵發を恣にし現に去る十二日哈爾賓埠頭區ボレワヤ街一柳洋行前に支那巡警五六名居たるが折しも來掛りたる客馬車二臺の馭者を下車せしめ己等が分乘して鞭を上て逸走し遂に是を徵發せるが其他にも斯る事屢々行はれたるが如し（哈爾賓）

軍用金調達 吉林軍は某銀行より或る方法にて五百萬圓の軍費を得たり之を引き當に某官銀號をして大小洋及び官帖の發行を爲さしむる由（吉林）

監禁されたる裴 吉長鎭守使 吉長鎭守使裴其勳は時局の當初より其の態度甚だ鮮明を缺き高士濱等より疑ひ注目され居たるが孟氏の招電に因り多數の將校に護衞されて來吉直ちに督軍公署に監禁の身となりたり彼れの部下は現に間島方面に出動中とか傳聞して如何となす（吉林）

財政廳長歸る 逃亡せりとの噂ありし丁吉林財政廳長は長春より歸りたり（吉林）

銀行家の見たる 露貨幣の前途

西伯利を旅行せる內地某銀行家は其歸途當哈爾賓に於て語る處を聞に西伯利の通貨問題は列國の間に整理案の成立を見たれど

西伯利政府 が承認せられざる限り通貨整理案も格別進行せず從つて同政府の借款問題等も具體化するに至らざる現狀なり然し貨の紊亂極度に達せるを以て同政府とても自主的に通貨統一政策を執るの餘儀なきに立ち到れり即ち

實力無きに係はらず頻りに通貨の統一を策しつゝある所に一種面白味を感ずる次第なり。翻つて同政府の財政狀態如何を見るに昨年下半期に於ける國庫總支出は十億留なるに總收入は三億留にして

七億留の缺損 塡補は之を國庫債券發行に依りたるを以て勢ひ通貨の膨脹は免れ難き所にして對外的留の價値の下落する所以なり今年四月に於ける過派政府の發行せる留の總額千五百億留の巨額に達せり西伯利政府大藏大臣の過派に對する宣言書に

頗る振つた文書 あり曰く過派の味方は劍戟銃砲にあらず紙幣印刷機なりと以て紙幣洪水の一端を窺知せらる殊に西伯利政府がケレンスキー小札紙幣の流通禁止をなし今七月三十一日を期して過派の發行せる地方貨票の流通を禁じ早晚ケレンスキーの大券及び

ロマノフ紙幣にも及ばんとせり斯く同政府が思ひ切りて統一を策する所以は同政府發行の紙幣を外國銀行に受入れしむる意向にて現に一部意向の實徵を見つゝあり夫れにしても

通貨の本體 たるべき同政府の紙幣に就て紙質の粗惡印刷の拙劣通貨としての形式の不備等改善すべき點頗る多し要するに通貨問題の如きは西伯利の承認の政治問題の解決が主なり解決せられざるも之に拘する列國の態度決定を見ざれば具體的に議論し難かるべきか

農民の懷ろ 益々溫かし 叺の思惑買にて

忠清南北道各地方は昨年春以來七八月頃に至る迄各地叺商人の目先高値を見越し思惑買占をなし至る所叺の山をなし賣行なく商人は苦痛を感じたり本年は昨年の轍を踏まざる樣各地申合せたる如く春期に於て放賣し手持の折柄米價暴騰且つ降雨適順に豐作を見越し出穀多き爲に叺の需要を喚起したるより昨今鳥致院は左の高値を持續せり

ピー市場買入値段三十六錢、シー同三十錢、不合格二十五錢

慶南晋州に 建物會社新設

資本金十萬圓、三百株公募

慶南晋州土地建物株式會社は清水創立委員長外六名調印の上許可申請手續をなせり同會社は資本金十萬圓一株五十圓にして二千株なり發起人持株一千七百株にて公募株數三百株の由（晋州）

桑畑一反收入 二百四五十圓

本年の如く繭價未曾有の昂騰を示し稀有の新値を唱ふるに際し桑園一反步の收入は慶南晋州地方にて春夏秋の三種にて二百四十六圓以上に達すべく要する經費は晋州附近には上畑一反二百圓位にして養蠶に要する器具は七十圓內外にて農家の副業としては養蠶より以上の有望なる事業は他に類を見ず從來養蠶業に於て失敗せし者のなきにしも非ざるも自己の能力より以上に試育せる結果にして晋州附近は風土最も適し蠶室と試育上注意を拂へば決して失敗するが如きは絕無なるべしと當事者は語る（晋州）

五州輕鐵彙報

明成會と製圖事務所

速成同盟會 馬山の有志は五州鐵道が一年延期申請せりとの風說を耳にするや大いに失望し此程某所に集合して凝議の結果五州鐵道速成同盟會なるものを組織し大々的に反對運動を爲さんことを決議し同時沿線各地へ其旨を通告して一致の步調を取り一は發起人に一は總督府に陳狀して延期不許可を申請せん筈なりと云ふ

實測狀況 五州鐵道馬山製圖事務所は第一線實測製圖の爲め馬山本町に事務所を借入れて目下製圖に着手中なるが約三箇月を要すべしと郡北間の第一期線は客月より杉山技師長指揮の下に實測中なりしが時今殆んど終點迄測量し殘部は極小部分となりたるも降雨の爲め意の如くならざるを以て一時馬山に引揚げ製圖に着手し追つて天候回復せば再出張の上全部の終了を爲す筈なるが技師長の語る處に依れば人夫の不足賃銀の高騰の爲め多少困難の場合ありしも面長區長等の盡力に依りて非常の便宜を得たりと云々と

堆貨依然矣

大連埠頭堆貨は七月に入り又々大停滯を來し十日に於て四十五萬四百八十三噸にして堆貨の主なるものは大豆の二十萬七千四百四十六噸豆粕の七萬五百八十九噸高粱の八千六百八十三噸等なりと

水飴會社（釜山）

今回釜山に於て二三氏の發起にて資本金二十萬圓を以て水飴製造株式會社を創立すべく計畫せられ目下夫々協議中なり

塵中零話

大連の株式界は製造株の二三が下落して居る許りで其他の各會社の株は何れも以上に騰貴して居る▲取引所の十二圓五十錢拂込みの新株が八十八圓と云ふ馬鹿値して居るのは例外としても二倍三倍位の株は澤山ある▲中には會社も成立しない內から株は拂込み豫定の倍額もするプレミヤムの付いて居るのさへある▲嗅水子の土地會社なども評判者の神成君がやつて居るので關東廳の土地係りの間にも嗅水が溢れて居るだらうと云ふ評判で一寸行き惱んで居るが夫でもプレミヤムはウンと付いて居ると云ふことだ（大連）

財界の新人舊人

京城日報社經濟部長 別府八百吉著 特價一圓送料八錢

四六版三百廿頁…總クロース美本

▽京城財界の代表的人物七十餘家の閱歷性行勢力事業地位を論じたるもの
▽今春京日連載の分に大修正を加へた
▽り千文流暢所論公平銷夏の好讀物

發行所 京城日報社代理部 電話長六〇〇番 振替京城三〇〇番

取次販賣所 大阪屋號 日韓書房 廣松堂 ウツボ屋

商況

株式

東京現株 至急電報

銘柄	△印賣買 値株拂込	▲印下落 十六日中値
鮮銀	一〇〇、〇〇	△二〇四、〇〇
同新	五〇、〇〇	▲一五四、〇〇
京電	五〇、〇〇	六二、〇〇
東拓	五〇、〇〇	▲九二、五〇
同新	一二、五〇	▲五二、五〇
殖銀	五〇、〇〇	五九、五〇

東京株式 至急電報

銘柄	十六日前場大引	前日比較
東株	三二八、七〇	一一、七〇高
同新	三三三、四〇	一五、三〇高
滿鐵	一七五、五〇	八〇高
一新	一五〇、二〇	一、〇〇高
二新	一一三、九〇	四〇高

大阪株式 至急電報

銘柄	十六日前場寄付	十五日後引比較
大株	三一九、八〇	二、一〇安
同新	三二八、一〇	二、一〇高
日郵	二八二、〇〇	一、六〇高
同新	一三七、〇〇	二、一〇高
商船	一八三、一〇	二、一〇高
同新	一三三、五〇	二、一〇高
鐘紡	三七七、一〇	二、二〇高
同新	三五五、八〇	八〇安
東紡	二六二、〇〇	二、二〇高
東糖	一七五、一〇	七、九〇安
堂米	一六三、九〇	……
上取	五〇、三〇	……

京城現株 標準值段

銘柄	△印賣買 拂込額	▲印下落 時價
仁取	二五、〇〇	一五六、〇〇
殖銀	二〇、〇〇	六〇、〇〇
朝郵	二〇、〇〇	四二、〇〇
電興	二五、〇〇	一八、〇〇
皮革	二五、〇〇	二七、〇〇
東畜	一二、五〇	一五、五〇
朝紡	一二、五〇	二一、〇〇
朝紙	一二、五〇	三一、〇〇
商銀	二五、〇〇	六二、〇〇
滿毛	一二、五〇	三三、五〇
鮮煙	一二、五〇	二四、〇〇
仁倉	（權利）	一〇、五〇

仁取賣物潜む 硬化の機運潛在

仁取株は手數料值上後の取組高如何に依りて强弱の見解決せらるべく豫想され而かも十四日後の出來高は空前の米高に伴ひ未曾有の數字を表はし會社の收益も豫想外の多きに達すべしと噂されて居るに拘はらず賣氣は依然として引立たず本日の如きも商內皆無の狀態なるが從來株式店に賣繫ぎたる向の弗々手を引く傾向あるは底意に强氣の含まれ居るに非らざるか例の豫言者千里眼の元祖として知られたる三田光一は來月二日迄に二百圓臺を現すと豫言したりとかにて强氣の材料とするものなり旁々何處にか昂騰の氣運を醸成し居るもののゝ如ければ今日の保合值を上放るゝ事も遠きに非らざるべく觀測さる

仁川も高保合

手數料引上後の商勢を懸念して利喰ひ賣りも豫想外の商勢を示したれば又復買氣を帶びて今朝百五十七圓見當にて手合せ行はれ八圓見當より小口商內は百六十圓を主張されつゝ好況となりしが高值は買急がず安物を拾はんと待構へ居るも思惑者に於ても目先二百圓を豫期した思惑なれば現在の商勢振りより思考しても買急ぐの必要を感ぜざれば斷りたる口物は百五十八圓より九圓見當の好勢なるか如し又一般諸株の人氣は一高一低を繰返しつゝあるこ云ふ何株を論せず仁川は好人氣の傾向にて今朝商勢は仁倉八圓五十錢にて二百株殖銀五十四圓にて五十株仁取百五十八圓にて七十株朝紡二十一圓五十錢五十株の商談出來せるが如し

毛織合同行惱

陸軍製絨所拂下を目標とせる日本東京兩毛織の合併談の頓挫せる以後東京毛織との合併に就て各方面に努めし郷誠之助男は工業俱樂部に於ける陸軍省諮問案調查委員長たりし關係より之が斡旋に努め滿蒙毛織は過般重役會を開き之を評議する所ありたるが東京毛織側の合併條件は一株對三株見當なりし者の如く滿蒙毛織としては本社を奉天に置く合辨會社たるに際しては監督官廳の許可を要し且つ年六分配當保證の無效となる可からざる上に尙ほ合辨は當初の設立趣旨にて抵觸する事情もあり旁態度强硬に一株對二株を持するを以て目下兩社合併談は行惱みの狀態に在りと云ふ然れども同株の人氣は毫も衰へず四五日前三十三圓五十錢處なりしが昨今三十五圓を呼び一圓五十錢方の上唱へとなれり

亞細亞熱狂人氣 八百倍の應募

亞細亞煙草は戰後の新會社熱の昂上と財界の有頂天人氣に投じて民間公募株として空前のレコードを爲したるもの、如く彼の鮮鬪電力株の四百倍は頃來の最も優越せるものとせられたるに今回の亞細亞煙草は之を倍加して其八百倍の應募と稱せらる程なるが人氣は寧ろ狂的に近き程なり初め地現物團に於いては二百倍位の豫想を以て盛に空賣したる向ありたるに右の如き意外の應募に周章狼狽して之れを買戾さんとするも破目となり初めてプレミアムが一躍十五六圓乃至七圓見當を以て當地方面より盛んに騰せし由にて當地方面よりは八百九十枚の大商內を見るに至り昨日より今朝に亘り又復買進みの況を示せり因みに昨紙本權利未だ發入決定せざれば權利の賣買として多少行過ぎの浮動あるこ記したるも當地への權利は公募株に非らずして發起人贊成人側よりプレミアム附にて手放したるものなれば收得と共に既に割當決定せるもののなれば買望み殺到に伴ひ近く又復三四圓方の昂上を見るやも計られざるべしと云ふ

東株立直る 反撥十圓以上

東京株式は昨日大不勢を現はし新東の如き遂に崩割れの悲境に陷りしが本日は頓に持直したるものゝ如く東株十一圓七十錢高新東十五圓卅錢高と大巾の反撥を演じ滿鐵も亦電報欄所載の如く氣丈の成行きを示したり

大阪竹原商店特約 東京山一合資會社特約
公債株式現物賣買
新田耕市商店
京城櫻井町二丁目 電一八八二・三一九〇

米況

東京期米特電

十五日前場

當	三十八圓四十九錢
中	三十七圓九十錢
寄附	三五、九〇
高値	……
安値	……
止め	……

大阪期米特電

十五日前場

當限寄付	三十九圓五十九錢
中限寄付	三十七圓八十四錢
寄付	三六、五二
高値	……
安値	……
止め	……

神戶期米特電

十五日前場

寄付	三六、三四
高値	……
安値	……
止め	……

下關期米特電

十五日後場 浮足

	當限	中限	先限
寄付	三八、九	三七、五〇	三八、八
高値	……	三七、五〇	三八、九
安値	三八、七一	三七、三〇	三八、七
止め	……	三七、三五	三八、八

の律から行くも此邊百五十丁位の反落は順當ではあるまいが今朝も立會は前日引既不勢の折柄阪地の不勢を移して益々人氣軟弱に公定買らうの壁揃ひに高值を控かれ狼狽の振合に見受けられたり立會は當限は出來ずも中限四十一圓丁度先四十圓九十錢こ兩限共五十丁安に寄付八十五錢が安值は目先利喰も㋮圓より現れ四十一圓丁度と賊上けしも戾りを待ち構へし力武筋は市場內より団店に行成注文の賣物を發して猛烈に賣浴せしかば㋮の防戰買ひも消化されて七十錢と益々不勢の商勢を示したるが全圓の手揃ひ買ひに九十錢と跳返したるも戾りは団全好く賣りて再び八十錢と追擊をなし硬軟の氣勢を八十錢臺に爭ひしが㋮店の熾烈買ひに㋮圓も好く買ひて八十八錢と盛返ししが兎に角今朝の四十圓八十錢臺は割安の感あれば人氣の先走りは禁物ならん

仁川期米

十六日前場（反落下進る）

▲第一節 今朝天候東風曇晴模樣阪地入電未著なるも前日の不勢を移して形勢一變し公定ヤロ〳〵の安人氣に立會ひ中限四十一圓先四十圓九十錢と何れも五十丁方の下放れに寄付八十五錢と追擊せしも安值は㋮圓も好く買ひて四十一圓丁方と跳返したるが戾りは力武筋の㋑店より現れ續いては㋣全知好く賣りて七十錢と追擊されしも安值は透さず㋮圓其他より買進て七十九錢と大混戰裡に引▲第二節 當出來不中中㋮の買ひに四十圓八十錢より九十錢と飛びしも戾りは全団の賣物に八十錢と押したるが押目は㋮の大買物に支へられ再び九十錢と跳返し八十八錢を採合せし氣先全の賣叩きに八十錢と追込みしが㋮買煽りを八十八錢と盛返し引▲第三節 中㋮買九十二錢より九十錢を辿りしも㋮店好く賣向ひ九十五錢と返し先九十錢より七錢と撥けし㋑全よりの買物に買方手控へとなり八十八▲第四節 中九十五錢より稍買錢に四十一圓〇二錢と跳ね先九十錢より買方手控へに弱氣買慕ひジリ〳〵七十九錢と押し八十一錢と返せしが団買に七十九錢と不勢に引▲第五節 中㋮買㋮買に四十一圓より一圓〻〻錢と引締まり先八十錢より㋮買に㋹の買物も好く消化し九十四錢と盛返し㋑の猛烈買に八十九錢と緩み押目は相變らず㋮の無盡藏買ありて九十錢と强硬に散會せり

腰入益々深し

今前場連節に亙りての団買㋮買は最も市場の注目を惹きしが団米は鮮人を始め其他有力筋にし㋮買は地場及地方の有力正米筋多きが如く爲めに硬軟の腰入益々深く眼先相場の變動に連れ兩者の活躍更に目覺ましきものあらん

十六日前場

寄付	四十圓九十錢
止値	四十圓九十錢
高値	四十一圓丁度
安値	四十圓七十錢

◇出來高 十七萬九千六百石

◇公定値段

一節	四十圓八十八錢
二節	四十圓八十七錢
三節	四十圓九十三錢
四節	四十圓八十三錢
五節	四十圓八十七錢

帳入値段 中限四十一圓十三錢 先限四十圓十八錢

中限出來高 六萬二千石

市場雜觀

相場は愈々買氣熾烈で買方は全誠の光景を示し昨後場は四十一圓八十錢と云ふ有史以來の新高値に爆發を演じたが場面の手振は形勢一變して鮮人筋は好く買ひ付き居る正米事情より見て買進んで來たが釜山群山地場有力止米師は団㋮㋑全㊥其の他より手詰めを急ぎて場面は混沌を極め買方は大阪高を嚇して買煽る弱氣筋は硬派の手詰に買崩されて京安を頼みに賣物み發し新柄団店より氣勢を引きしが猛烈に市場の注目を引き遂に五十丁安續いて克く賣浴せ遂に五十丁安の三十錢と反落したが安値は買方も買手を振りて四十五錢迄釣上げ高値を買込んで新戰の手を握られしも団店が何か安材料を振りし見透しがんたる弱氣筋は先廻りに賣進みて遂に二十八錢と不勢に打ちたり

米調と人氣

今回政府に於ては米價調節の目的を以て米穀買賞の容易と迅速とを期し現下の會計規則中に特例を設くる事に決し近かく勅令を以て御裁下あらせらるゝ由入電あり此結果は今後の米界に如何なる影響を及ぼすか既往幾多の米調施設の經過に就て觀るに其効果の如何は容易に判斷を下し難く例令外米輸入を促進せんとするも我のみ焦慮するも本國政府に於て我希望を入るゝや否や又疑問にして之により此處一時的人氣の影響ありとするも其効果にして反騰を一層大ならしむる恐れなしとせず要は今後に於ける當局者の遣口と共効果如何に待つの外なかるべしと

證券現物問屋
株式會社野村商店代理店 田中文吉商店 京城本町二丁目 電話九九〇
田中文吉仁川支店 仁川本町三 電話七二六

京城正米市場

期米は昨後場の行過ぎ反動に小百丁方の反落を告げ眼先內地正米の如何をも氣遣はれ今朝は買人の附値二三十錢方の下値となりしが賣人は飽迄先高の念强きより此邊手放しに應ぜず爲めに市況は一般見送り狀態にて氣弱持合ひを示せり

南大門廻報

烏山白米一〇八叺 松汀里胡麻二二叺 水原白米二一四叺 興水粟二〇叺 宣川大麥四五叺 黃州裸麥四五叺 黃州裸麥七五叺 平澤玄米八二叺 平澤七八叺 新義州碎米二七叺 新義州白米三三叺

仁川正米市場

內地期米高に刺戟されて殆ど天井知らずの熱狂相場を出現して昨日は平澤三等神力四十二圓と云ふ空前の高値に商談出來せしが今朝は

產地より賣物嵩む

買方手控の狀態となりしも頭打の市況にて三等神力四十一圓五十錢見當なれば內地輸出口も弗々手を染めて買氣を催し居るも高値は一般警戒氣味もあり又昨年の現在に比すれば少なしと唱ふる在米も七萬石餘を算し全鮮各集散市場中仁川が第一位を占むる統計を示したれば無茶に買煽りも爲事能はず仁川在米中七部を占めんとする手持筋力武朝鮮物產は昨後場団より九月限の四十一圓臺は熾烈に賣浴せ正米緊ぎの由なるが兎角米界の人氣は一寸一服の模樣にて地搗玄米四十一圓見當の傾向を示したるも値頃觀より買方手控への商勢なり

釜山正米市場

當地正米市場は內地期米高報あれども市場一切に賣人氣にて高値には買手無く睨合ひる爲め

各地米況電報

釜山三等正米	四十三圓三十錢
仁川三等正米	四十一圓八十錢（氣配强し）
群山三等正米	四十一圓五十錢

仁川米豆取引所仲買人 內海仲買店 電話長六一五・六三（武） 電略〇ウ・〇又ハ〇ウ

三品

大阪三品特電

十六日前場 綿絲二銘 米棉一圓安 十六圓十錢

七月限	五七九、〇〇
八月限	……
九月限	……
十月限	……
十一月限	……
十二月限	五〇〇、九〇

綿布は無活氣 大阪綿布十五日午後入電は三銘十先十六圓十五錢九龍五十錢方の上鞘の高氣配をなせしも當地は實需閑散と氣乘り薄の折柄近來阪地相場の變動も何等の反響なく相變らず粗布先物二十一圓十錢現物四百四十八圓見當に持合ひ居れり

橫濱生糸電報 總督府入電十五日午後四時三十分發電 標準物の賣行なければ相場なし信州器械上一番格にて本日ごも信州相場二千一百圓前後にて今日まで尙手持多し商談なく隔々の態度を示し居れり

雜報

麥粉行過き反動 內地相場の激騰を受け值々數日間に約一圓五十錢方の奔騰を告げし當麥粉界も餘り突飛に過ぎたると糖界人氣の動搖に連れて氣勢の頓挫を來し利喰ひ及嫌氣の賣物に氣配引緩み一時六圓七八十錢を唱へられし經票も今日にては小口六圓三十錢に反落し大口取引としては六圓十錢處の賣物現はれしも尙望人なしと云ふ狀況なるが正米高に前途は大に樂觀されつゝあり

大豆氣配呆け 大豆は仁川筋の移出積合せの買進みと正米高を受け昨午前中四五十錢方の突飛を告げ龍山物十八圓より二十錢を唱へられしが今朝は期米安と一服買控へに聊か氣配呆けの市況を呈せり

粟裾物引締まる 支那粟は兎角相場伸惱みの狀態を脫せざるが地方筋にては來る端境季に於ける米の供給不足の念强く且つ新米期迄には尙相當の期間もあり從つて今後の米價は更に幾何の昂騰を期待せらるゝと共に現下割安なる粟の前途に好望を繫ぎ買氣を募り來りしものゝ如くする各地よりの商談弗々入込むに連れ雜物は品薄と俟つて多少引締まりを告げ居れり見當相場は海城物十四圓三十錢營口物十三圓七十錢遼陽十三圓三十錢昌圖十二圓八十錢鐵嶺十三圓二十錢龍十二圓八十錢より十三圓處を唱へ居れり

白米標準値段 一等米 四十六圓

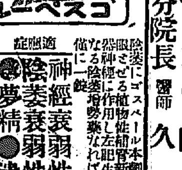
白米小賣値段 十七日より 一等米 四十七錢 二等米 四十六錢五厘

㋑ 仁川米豆取引所仲買人 仁川商岸町三丁目 今村覺次郎 電話長三三六番

若き男女の必讀書出づ（最近刊）
生殖器學全書
●洋裝美本七百餘頁 價金五圓五拾錢 目下割引特價金貳圓八拾錢
男女の愛はこれ天の與へし人生の幸福なるも、從來これを秘事として人に語るを避く、されば若き男女はこれに關して人に問ふ事能はず知らず〳〵不衞生に陷り、又は之が快樂の滿足を知らずに不幸一生を終る者少からず、されば昔は嫁入道具の一として本書の如きものを必要とせしも偶然に非ざるなり。新進大家ドクトル先生我社の熱望を入れ本書を著述さる、內容の豐富、文章の艷麗、挿入の繪畫よく讀人をして悉く滿足せしむ。內容の善美は以て出版界稀なる誇りたるべし。密封小包送本（郵稅不要）一冊送れハガキにて申越次第代金引換にて直ちに送本す、賣行飛ぶが如く七版將に切んとす、特に目下特別割引中なれば此際至急御注文あれ
發行所 東京神田三崎町二丁目 振替東京三六三〇番 メイル、タイムス社

善良にて效果偉大なる 目藥は諸君の選擇による 此の目藥一壜拾錢 東京吉永藥房

內科 小兒科 小林病院
京城旭町一丁目 電話六九一番 入院隨意 隔離病室 普通病室
院長 醫學士 小林千壽
副院長 愛知醫學士 日向野理助
永登浦分院長 醫師 久保廣次



適應症 神經衰弱 陰萎 精神的陰萎 衰弱性陰萎 ●夢精 ●遺精 ●射精 ●早漏
東京市下谷區長者町 竹島製藥所 東京府國米澤町 吉田萬成堂

資本金壹千萬圓
頭取 安田善三郎
京城本町二丁目
株式會社 第百三十銀行京城支店
電話長五八番 振替貯金京城一九四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有之

內科 胃腸病 診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院

優美堅牢眞に履具合良き
代理部 靴の部

ボックス 甲 十一圓五十錢 乙 十圓五十錢 丙 九圓五十錢
キッド皮 甲 十六圓五十錢 乙 十五圓五十錢 丙 十四圓五十錢
白ズック短靴 七圓五十錢
ゴム入ネヂン短靴は一圓下り 御注文は御一報次第寸法取り圖解御送附可仕 御入用の場合は種類足袋の紋數其他詳細御通知
京城日報社代理部 振替京城三百番

痔疾專門
京城久枝肛門病院
京城明治町二丁目（本町より入る中央） 電話二一〇二番

日本名刀傳 百三

東京 田邊南龍講演

五郎正宗（卅二）

やがて正宗は湯の中より鎚を引出し、振返つてニッコリ笑ひ兼光に挨拶した其の一呼一吸、何其に響へやうもございません、其態度の如何にも立派なので兼光は唯だ呆然として居りまする正『お客樣、嘸目だるうございましたらう、さア此方へ御案內致ませう』仕事場に兩手を突いた兼光は『恐れ入りました、斯樣な先生とは存じ申さず何共申譯がございません、實は斯う云ふ次第でございますが聞きなすつて下さいまし、私は備前の刀鍛冶兼重の倅兼光と申す者でございます』正『お、備前の兼光殿とは罷て御名前を承はつて居ります、知らぬことゝは言ひながら失禮致しました』兼『イエ、さう仰せられては面目次第もございません、實は私、藝に慢じて今年の禁裏御番鍛冶は自分である事と獨りで極めて居たのは井の中の蛙大海を知らず、所が京都から御通知の御箱が到來したので開けて見ると貴方樣が御番鍛冶にならつしやつて、私は十七番目夫故私が平生高慢致した面當に備前の刀鍛冶七八人で私の所へ祝ひだと言つて腐つた鯛に小便を詰めた酒樽を持込み、散々私に耻を掻かせました、夫故親父の兼重も非常に立腹して皆さんのお怒りになるのも無理はない、貴樣が平日高慢だから耻を掻かされたのだ、もう親で無い子で無い、勘當するからトットと出て往けと散々打擲されましたが、私はまだ目が覺めず、なアに正宗が御番鍛冶になつたのは何か仔細のあつたことだらう、是れから俺は鎌倉へ乘込んで正宗と腕を比べて弟子にして連れて歸ると高言を吐いて備前を後になし御當地へ指して參りましたが、ツイ此先の宿外れの茶店の婆アさんに內々貴方樣の御樣子を伺ふと、イヤどうも褒めること／＼の素晴らしいので少々心に怖れを生じましたが、何一つ乘込んで俺の腕を見せてやらうと考へましたので、オコがましくも仕事場を拜見したいなどと申て貴方樣の腕を試さうとしたのは、全く盲蛇物に怖ずと云ふ譬への通りでございます、然るに貴方樣は何處迄も御謙遜遊ばして私如き者を手を突いて御挨拶遊ばれ、又唯今拜見したお腕前といひ御樣子といひ、實に恐れ入つたもので到底私し如き者の及ぶ所ではございません、全く茶店の婆さんの言ふ通り豪い先生、どうか今後私をお弟子の中へお加へ下すつて御教導を願ひます、私も一心になつて湯加減の傳授を戴き、國へ歸つて兩親へも詫び多くの同業者へも詫なければなりませんからどうかお弟子になすつて下さいまし』と眞心面に現はして平伏して賴みますので、正宗は氣の毒になり正『まア／＼手を上げて下さい、宜しい、さう云ふ譯なら及ばずながらお敎へ申さう』と是れから兼光を弟子の中に加へて種々と敎へ導きました、素より腕の出來て居る兼光ですから業は益々發達する許り遂に正宗は湯加減を傳授してやりましたので、悅んで其の恩を謝し生れ變つたやうな立派な人物となつて故郷へ歸りました、此の人も即ち正宗十哲の一人といはれて後世迄も魚兼光として其の鍛つたものは尊重されて居ります、

春川の祭典

昨年來官民有志家の發起により工費約四千五百圓にて著手せる春川神社は客月竣工せしを以て七月三日落成式を執行し同月七八兩日臨時大祭並に遷宮祭を執行したるに時恰かも麥作豐收にて稻作亦順調なると殊に平和克復のため市中は各町裝飾をなし煙花、相撲、屋臺等の催しあり春川未曾有の盛儀なりし（春川）

京城 朝鮮製藥合資會社
人蔘賞與散
金十五錢 金四十錢 金壹圓 金五圓

大田分監と舍宅

大田監獄工事の一部は來る九月末日迄には竣成し囚徒を收容する筈なるが之れと共に看守長三名通譯生、敎誨師、看獄醫、藥劑師各一名內地人看守二十一名鮮人看守二十二名赴任する筈なるが住宅拂底し現在の住宅にても不足を告げつゝある際大田市民は此の多數來住者を迎ふるに如何なる態度に出づるかは今より刮目するに値すべし

北鮮醬油會社（羅南）

羅南の北鮮醬油株式會社募株數八百五十株に對し申込一千六十株に達したる爲十株未滿の申込者には申込株數全部を提供し十株以上の向へは按分比例を以て割當つることに決定せり而して創立總會を來る二十五日午後一時より羅南娛樂場に於て開催することに決定したり

蠶況

春繭 春川（江原道）

春川郡本年の春蠶繭は約一千石にして此の中同郡蠶組合の取扱に係るもの約五六十石あり第一回は先月卅日入札に附し約百七十七石を一等石百三十五圓餘にて東亞蠶絲會社に落札せり

曆

七月十八日 金曜日（舊）六月二十一日
暗劍殺二黑 かのとひつじ 南▲友引▲危▲たつ 西▲

▼二黑▲時節を待つべき日なり
▼三碧▲注意せぬと失敗する日
▼四綠▲兎角はき／＼せざる日
▼五黃▲向上榮達の日なり表裏共に大吉なれど驕奢を戒む日
▼六白▲ちよつと不祥の起る日
▼七赤▲時運を得る日にして目上の指圖に隨ひて進まば大に吉
▼八白▲親密の日なれど何處かに實意の籠らぬ所もある日なり
▼九紫▲表裏共に親しみある實意の籠りたる日、萬事進んで吉
▼一白▲目上引立を得る日なれど驕慢なれば機運を逸すべし

ね小便と小便近き人へ

キクミ 全快者の禮狀が每日每日來る新發見の療法あり今回人助けの爲めハガキで申込の方へ無代進上す

東京市京橋築地町 電話京橋三九七六 救世院

りん病 急性慢性を問はず博士發見の新藥を配合せる淋滅を御用あれば全治速なり藥價一圓四十錢二圓七十錢、四圓、送料不要

ルーデサツク 特製品 A十個五十錢 廿個九十錢 B十個一圓 廿個一圓八十錢 七十五錢 女用一個三十錢 廿五錢 一圓 郵券（三錢）代用一割增 廿個以上送料不要

京城黃金町三 振替京城三二七二 山田文殊堂藥房

赤玉ポートワイン

神の與へられたる吾曹の血はこれなり……血を增さんとする人はこの葡萄酒を飮め

赤玉ポートワインは最も優良なる原種より作る其天與の美味其自然の色澤と芳香病者も是に依り健に、弱き人も是に依り幸なる可し

七大醫學博士が賞讚されたる葡萄酒はこれなり

朝夕の一杯は百藥に優る

（8）

日本に唯一つしかない夏の理想的お化粧料

日ヤケ

高等化粧料 ホーカー液

汗の惡臭を去り、色白くなる 日ヤケを防ぎ、アセモ、蚊や虫サヽレ跡によく

注意 毎朝洗面の時お忘れなく二三滴宛おつけになれば絕對に日ヤケせず始終美しいお顏をしてゐられます

特長 △底から色を白くし △キメを細に艶を增し △日ヤケ雀斑ヤケを防ぎ △小皺を伸ばし若くす

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髮液 ホーカーパット

定價 愛用大瓶八十錢 中瓶四十錢 小瓶二十錢 送料內地六錢

本舖 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 電話神田一四三、一四四、一四五 振替東京一五六

大阪商船出帆（仁川出帆）

▲大阪行 大和丸 七月 日正午出
大連、天津行 △湖州丸 七月十四日正午出
郡山、大阪行 △安東丸 七月十八日正午出
（元山出帆）
浦潮行 宮島丸 七月十六日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 須磨丸 七月十五日後九時出
（大連出帆）
上海、基隆、打狗行 基隆丸 七月 日前六時出 湖北丸 七月廿九日後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回 北米行 每月一回
南米行 一年四回 孟買行 每月一回
濠洲行 每月一回 南洋行 每月一回
御注意 外航所屬航路遠洋航路乘船の時は五分引を以て運賃割引致候 切符發賣は出帆前一時間限り ◎印乘客不取扱 △印船客御斷
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二番二一〇番五五〇番
切符發賣所取扱所 京城 內國通運會社支店 電話七〇八番 京城本町 旅館電話二六一番 仁川本町 … 電話四二二七番

名刺 京城 太平堂 電話二七二番 振替京城二三六七番

日本郵船出帆（仁川出帆）

大連、天津、牛莊行 濟州丸 七月 日正午出 高砂丸 七月 日正午出 相模丸 七月 日正午出
仁川岸町二丁目 電話十番 堀回漕部

共同汽船出帆（仁川）

阿波共同汽船株式會社
▲大連直行 第二十一共同丸 七月十八日午後入港 七月十九日正午出帆
▲青島直行 第十六共同丸 七月 日午前入港 七月 日午前出帆
▲秦皇島行 第十三共同丸 七月 日午後入港 七月 日正午出帆
朝鮮鐵道主要驛にて荷客取扱大連にて青島行定期船接續荷客通輸送共
仁川代理店 野口商會 本町四丁目電話一七一番
元山代理店 田口同 電話二四七番
京城取次店 南大門通二七六 河村運送店 八〇二部

尼崎汽船出帆（仁川）

群山木浦下ノ關大阪行
△赤心丸 七月 日後四時出
△一代丸 七月 日後四時出
△神吉丸 七月 日後四時出
△秀丸 七月 日後四時出
△君か代丸 七月 日後四時出
△大有丸 七月 日後四時出
〇第一運輸丸 七月 日後四時出
〇印一二等船客御斷 △印二等船客無
仁川海岸通二丁目電話五九番 高杉回漕部

五光商會汽船出帆廣告

◎第三 … 元山、西湖津、城津、清津行 七月 日釜山發 七月 日元山發
◎第三 … 門司、宇品、神戸、大阪行 七月 日釜山發 七月 日元山發
釜山 大池回漕部（電話一三三） 元山 田口回漕店

朝鮮郵船出帆

支店 …
▲羅津行 …
平安丸 七月廿二日 七月二十日 元山發
▲浦汐行 …
忠清丸 七月三十日 七月一日 釜山發 元山發
▲雄基行 …
京畿丸 七月十八日 七月廿三日 釜山發 元山發
咸鏡丸 七月十八日 元山發
▲元山雄基線 元山起點各港經由
鏡城丸 七月十九日 元山發
▲大阪行 釜山、馬山、統營、麗水、木浦、群山、仁川、鎭南浦經由
忠清丸 七月十九日 七月廿一日 釜山發 元山
雄基丸 七月廿四日 七月廿一日 七月十六日 釜山發 元山發
平壤丸 七月廿四日 釜山發
▲全羅南道 …
盛鏡丸 七月十八日 長崎行 …
慶尙丸 七月二十日 釜山發
▲濟州島行 釜山發
會寧丸 七月十五日 釜山發
▲濟州島行
東廻 公州丸 七月十九日 木浦發
西廻 慶興丸 七月廿四日 木浦發
▲木浦、多島海行 木浦發
順天丸 七月十六日 木浦發
慶興丸 七月廿一日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由
江田島 七月廿一日 仁川發
▲鎭南浦行 仁川發各港經由
晉州丸 七月十八日 仁川發
▲大連青島行 仁川發芝罘經由
江原丸 七月廿一日 仁川發
○朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡アリ
本社 京城南大門通 電話長三一三
支社 釜山佐藤町 元山海岸通 仁川代理店 木浦代理店 京城荷客取扱店
山出張所 元山出張所 堀回漕部 山野回漕部 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ 電話長一一七〇

京城日報 第五版 (年中無休刊)

大正八年の世界地圖(三)
志賀重昴氏談

波蘭の現在人口は二百五六十萬人であるが唯茲に異數とす可きは同國が從來極端なる壓制乃至虐待を被れるに拘らず尚ほ人口増加率多きこと此の點に於ては亦有數の人種と云ひ得らるゝのである、而も武力にありては獨、墺に及ばざりしも夙に獨逸との地域の錯雜混交せる地方にては土地取得の組合を設け徐むろに土地恢復を企てつゝあつた、且つ經濟上の勢力も相當に有せしを以て之れが活躍は注目に値す可きものとなつて居る。

其他は領土を減じ若くは増加すべく彼のシレシア、東プロシアは共に住民投票に依り去就を決したるもので其隨一たる獨逸はアルサス、ローレン二州を佛國に恢復され北丁抹より割取せる地方は人民投票に依り去就を決せしむ可しと云ふも事實上丁抹に獲得せらるゝ事となり東は波蘭獨立の結果總てに於て全領土の二割五分內外を失つた、其他ライン、ランドは有名なる工業都市を有し其の人口七百萬人にして獨逸國家社會主義を唱へつゝあつたが去月中新に獨立し國主義に對し不斷の反抗を試み居る急進的方針の下に獨逸の軍たる所くの如く其領土の減少に隨ひ人口の之れに伴なひて減ぜるは勿論當然の事である。

一方戰亂の結果利益を收めたるものとしては上述せる希臘、羅馬尼等の利權を獲得し乃至は事實上に於て其領土を擴張したるを始め就中佛國にありては怨みも深きアルサスローレン二州を恢復し其歷史上に於ける幾年かの屈辱より免れ得たる爲め稍もせば衰退の兆ありし國運を復し得る好機會を得た即ち獨逸の旺盛なる工業に消費しそ倘ほ二十三億噸の大產出力あるロルランの大鐵鑛も彼の世界に於て有名なる大炭田をも收め得て獨逸に對し殆んど致命的大打擊を與へたる半面の佛國の利益は蓋し莫大なるものがあるのである、更に白耳義は國土の大部分は荒廢し其の被れる損害は勿論尠からざるもモレニーの亞鉛產地並にマルメニーの含鐵泉を回復した兩者は其の人口僅々五萬內外の地に過ぎざるも豐富なる產出力と將來に於ける之が需要とに想到せば其利益は決して尠少ではない、其の他南亞弗利加に於ては獨逸の委員統治權を獲得し英本國は東亞弗利加の利權が得らるゝ地位にある、カメルン、トーゴの兩地は英佛兩國の協議に依り統治さる可き確定であるが從前よりの關係上多分佛國に委せらるゝ事となるらう。

大正八年に於ける地圖は大體に於て上述の如くであるが而して此結果を見るは固より民族自決其基礎をなすも亦戰時中に於ける努力範圍……各自國の地位を優勢ならしむ可く努力せる結果……乃至は歷史上の緣故等よりして斯くの如き影を示し所謂世界の大改造を見たのである(完)

英國政界動搖

英國政府は來る九月を期して總選擧を施行し且つ政府を改造するの意嚮ある旨を發表せりこの事なり客年十二月十四日に施行せられたる總選擧に於ては政府黨四百七十名に對する非政府黨二百二十九名の少數にして右は政府が戰勝の餘威を藉り人氣の未だ冷却せざる裡に施行したるものにして且つ多少選擧干涉の嫌ひありこの非難あり之に加ふるに軍事內閣なる者は戰時中變態的現象と見るべきものにして英國憲法の常道として何れか一方の政黨を主とした政黨內閣たらざるべからず從つてロイド、ジョージ氏も十二月總選擧と同時に內閣の一部改造を行なひ軍事內閣より平時內閣に移らんとする爲め軍需省を廢し、右兩省を併合し……及び改造省なる次第なりしが新選出の政府黨中には統一黨三百三十三名の多數を占め自由黨百二十七名、勞働黨十名の少數にしてロイド、ジョージ氏は之れを打ちて一團とした大政黨の首領たること能はず爰にロバート、セシル卿以來統一黨は漸次ロ氏と乖離せんとするの傾向にあり本社特電に依れば勞働黨の提出せる婦人參政權擴張法案の討議に際してもセシル卿を戴ける少壯統一黨議員團が同案に賛成したる爲め現內閣派は大敗を喫したるがロ氏も此際內閣を改造するにあらずは……北を爲せりと云へば今回對獨講和批准を了し全然平和狀態に入るに於ては斯かる過渡內閣に依らずして憲法の常道に復歸せざるべからずロ氏も戰勝に依り功成り名遂げたる以上政權に戀々たるものにあらざれば更めて總選擧を施行し國民の信任を問ひて後進退を決するに至るべきは當然の成行なりと云へり

對支時局觀
有力政府樹立急
支那委員

我態度公明

の講和條約調印拒絕に依り山東問題は又復世論に上り來りしが如きも元來支那委員の主張要求は彼の二十一ヶ條の日支協約を無視し且つ今回成立せし講和條約其の者をすら破毀せんとする否なれば全然出來ぬ相談にて支那委員が之れを主張要求すれば其程其沒常識と不信誼を世界に暴露し一國の嘲笑と憤慨を買ふの結果に陷る可し若し斯くの如き主張要求にして許容せらるゝとせば伊太利はアドリアチック問題獨逸はザール地方問題日本は南洋問題、曰く何、曰く何と相續いて其破訂は要求せられ講和條約は根本より破壞し盡されん支那委員の山東問題に關する主張要求が更に一顧の價値なきは元より多言を要せざる所にして帝國として只我が正當なる權利を正當に行使せば足る、支那が我が公明正大なる聲明を信用せず或は留保附調印を唱へ或は我が再度の還附聲明を要求せんとするは抑も自他を侮蔑するも極まれり

例の敵本主義

而も支那委員の狂態は何れも敵本主義に出で國際關係を惡用して政爭の具に供し親日派政客の失脚を餘儀なからしめ自ら取つて代らんとするの陋劣に坐するは愈々唾棄すべし、彼の終熄すべきが如くにして倘ほ容易に終熄せざる排日騷擾の如きも亦彼等野心政客の煽動に依るものにして已に支那國の親善と國益に累する事甚だしと云はざるを得ず、最近支那より歸朝せし某氏の語る所に依れば今回の騷擾は先年の共和よりも其の範圍と根柢に於て廣く且つ深きものあるを以て容易に終熄せざる可く觀測せらるゝと云ふ之れ憂慮すべき事態なるが元來日貨排斥、排日騷擾に依りて受くる損害不便は我より彼に於て其程度甚だしきは戰時中米國の受けし損害苦痛の甚だしかりしに依りても知らるゝ所なれば支那にして能く之を反省せざるに於ては生じて彼の非買同盟を待たんよりも寧ろ我より進んで非買同盟を斷行し

同盟を斷行し

一個の實物教育に依りて彼の改過を期するを勝れりとはせずや、既に彼の辭旨は別とするも心ある商人等は日貨排斥に依りて受くる不利不便の甚だしきに辟易し衷心より其の終熄を切望して止まずと云ふに徵するも這般の計畫は現在並に將來に對する好個の戒鑑たるべしと思はる而も支那が何の日を待つも國內統一せず外力の壓迫を受くる迄もなくして先づ自ら禍根の種子を蒔き步一步國威國力を減殺せんとしつゝあるは甚だ憂ふ可き現象にして畢竟斯の如くなる原因の重なるものは第一革命以來革命其のものが一種の妥協賣買に終りて革命の眞意義徹底せず國權國力の所在浮動して歸する所を知らざるが爲に外ならざれば眞に支那の爲に支那の安定向上を企圖せば先づ第一に有力有爲なる政府を樹立するを此の際に於ける急務なりと信ず(某支那通談)

佐々木君の小作農保護計畫に就て(五)
小原農商工部長官談

第二章 業務

第六條 本組合は左の事業を行ふものとす

一、佐々木家の援助を受け每年積立金を行ひ不動產を買收し農園其他農林業の經營を行ふこと

二、組合員に對し農事改良の指導をなすこと

三、組合員の爲め低利產業資金の貸出をなすこと

四、組合員の貯蓄を奬勵し其の便宜を計ること

五、肥料農具の共同購入並に組合生產物の共同又は委託販賣をなすこと

六、組合員の火災其他不慮の災害に對して相當の救濟をなすこと

七、小作米品評會を開催すること

第三章 役員及職員

第七條 本組合は左の役員及職員を置く

顧問一名 相談役二名 組合長一名 評議員五名 部落委員十二名 理事一名 技手一名

第八條 役員及職員の職務權限並に其任用は左の如し

一、顧問は佐々木家戶主之に當り會務を總理す

二、相談役は顧問を援け組合の相談に應じ顧問不在の場合は上席相談役之を代理す

三、相談役は佐々木家關係者中より顧問之を指名す

四、組合長は顧問の命を承け組合事務を執行す

五、組合長は評議員中より互選し其任期は滿二ヶ年とす

六、評議員は組合員中より顧問之を指名し組合の重要事項を評議す

七、部落委員は各村に於ける組合員中より顧問之を指名し組合長の命を受け各部落に於ける事務を分掌す

八、理事は顧問の承認を經て組合長之を任命し組合長を援け組合資金の運用其他組合事務を掌る

九、技手は組合長之を任命し組合員の農事指導を掌る

[illegible]章 佐々木家の補助及小作料

第九條 基本金として佐々木家は組合の積立として三千圓を付與す

第十條 佐々木家所有地の小作料は他者の所有せる隣地に準じ其の小作料を勘案して相談役組合長評議員及土地所在地の部落委員協議の上決定す

第十一條 本組合は佐々木家の委任を受け小作料を徵收す

第十二條 佐々木家は組合積立金が二拾萬圓に達し其より生ずる收入金を以て佐々木家に納入すべき小作料額を支辨し得るに至るまで第十條決定小作料額中より每年一割を組合員共同の基本財產として積立つ但し作柄不良に因り小作料額を減免せし場合は其の程度に應じ之を減ずる者とす

第十三條 佐々木家は組合基本財產二萬圓に達する迄組合經費補助として每年一千圓を補助す

第十四條 風水害其の他の原因に依り作柄不良の場合は組合長の請求に依り佐々木家は積立つべき小作料額を免除す

鍊膽錄
三笑生

良雪長老

◇良雪長老は、淺野侯の菩提所たる、赤穗花岳寺の惠光和尙の高弟で、年は若かつたが、中々の傑物であつた。

◇大石良雄が、盤珪和尙の膝下に參禪し、山鹿素行の武道とに依つて、殺活自在の修養を積んだことは、世人の能く知る處であるが、此の良雪長老の提撕を受けたことも、亦大いに與つて力あつたことを忘れてはならぬ。

◇主君淺野侯が、松の廊下で吉良上野に刃傷あり、其の日の內に切腹申し付けられたと云ふ報知が、國元に達した時の事である。淺野五萬三千石も、御家は取潰しといふ、一大異變だから城內は、上を下への大混雜、大騷動であつた。

◇此處へ見舞に來たのが、花岳寺の住職惠光和尙と、その弟の良雪長老であつた。これに挨拶に出たのが、大石良雄『方丈には、よくこそ御來駕下されました。拙者此度の事には、當惑致しまして御座る』と云ふたところ次の間に控へて之を聞いた良雪長老、大喝一聲『此場に臨んで當惑とは何事ぞッ』と怒鳴付けた。大石も、此の意表外の活手段には、美事に一本參つたのである。

◇流石は、大石良雄である。其の一喝が身に沁みて有り難かつた。後で長老に向ひ『先刻の御一言には、此大石、實に恐入りました御座る。されば貴僧に於て今般の事件に就いて、御名案がござるなら御導きを願ひ度う存じます』と禮を盡して頼んだ。すると良雪長老は、一向平然たるもので、『君辱めらるれば臣死すぢや、此れ以外に、貴殿今日の御決心は御座らぬ』と言つた。大石も、此一言に依て此一大事に處する決心が付いたのであつた。

◇千斤の大鐵槌、生死透脫、大死一番底の消息である。千古不易の偉業たる元祿快擧の發端は、實に此の瞬間に成つたのである。

正則英語學校講義錄

拾四回 七月新學期

講義錄界の權威

監修=齋藤秀三郎先生

講師 英語界の重鎭たる正則英語學校講師一同執筆

會期 全二ヶ年半各級每々六ヶ月修業隨時入會を許す

特色 卓越 本義座右に備へ 講錄 英語の核心

絕對信賴 一ヶ月一圓 十四回新學期開講 會則無代進呈

東京神田三河町一丁目 正則英語學校 講義錄發行所 電話神田長二〇四五 振替東京二六八二八

最も進步せる通信敎授 新學期

本日發賣

理學博士 本多光太郎氏著

鐵及び鋼の研究

四六二倍大判 上製本全一冊 高雅なる新裝 定價金貳圓 內地送料拾八錢 海外送料四拾錢

本研究は博士が昨年十月鐵道協會に於て試みられたる講演の記錄にして眞に鐵冶金學上に於ける博士の研究業績を集め、先づ鐵を論じクロム鋼、高速度鋼、ニッケル鋼等に及び東北大學に於ける博士の世界的研究の精華を極めて明哲に且つ平易に述べられたるものなり、故に本書は單に專門家のみならず鐵業の展開に最も必要なる參考書なり

本多博士・川北學士共編 訂正增版 物理學通論 四六二倍判 定價金四圓 送料廿四錢

理學士 玉城嘉十郎氏著 質點及剛體の力學 菊判上製本 定價金貳圓 送料拾八錢

東京市日本橋區人形町 內田老鶴圃 振替東京二六四 電話浪花一五八六

マルブライム塗料特色及効用

印 經濟マルブライム 十壁、セメント壁、煉瓦壁、紙壁、石材木材其他室內如何なる所如何なる物にも使用することを得

印 經濟マルブライム 地色の醜を隱蔽して高尙優美の色彩を呈せしめ褪色剝脫の虞れなく耐久力に富み時日の經過するに從ひ益々其凝結力を增して堅牢となる

印 經濟マルブライム 強力なる殺菌性を有し如何なる黴菌も之を塗布すれば直に殺滅し且つ豫防することを得るは本塗料の特色なり

印 經濟マルブライム 塗布後乾燥迅速にして手及衣類等に附着するの憂なく時日の經過に伴ひ益々其の特色を發揮す

前記の如く諸種の特色を有するを以て諸官衙、銀行、會社、病院、學校其他住宅倉庫溫突等に使用すれば其名の如く經濟的にして耐久力に富み何色にても御意に任す 御注文に應じ申候

マルブライム製造販賣及塗布請負並販賣 家業 太平通 怡泰棧 周照高商會 代理店 本町 藏佐野彥 京城長谷川町九七 電話一五二五番

日本アルプスと秩父巡禮

登山の最好期は今!!見よ!!著者が十有餘年間に於る實地踏破談を

日本山岳會幹事 木暮理太郎先生序 日本山岳會員 文學士 田部重治先生著

本書は著者が過去十餘年に於ける日本アルプス秩父其他に渉る登山生活を叙述したるものである

最上製美本 定價一圓 送料八錢

英字新聞の研究

最新刊 花園緣人先生著 定價壹圓卅錢

時代の要求!!! 世界の舞臺に立つて活躍せんとする外交官、會社員、銀行員、學生、新聞記者たらんと欲するものは必ず本書を一讀せざるべからず

東京日日新聞記者 花園緣人先生著

歐米の新聞を讀まんとするものは本書を見よ

東京神田小川町 北星堂 振替東京一六二〇四

大根種入荷

京畿道水原驛前 富國園 定價表進呈

東京竹內製ペント金庫

弗箱と稱せられし時代より苦心研究せられたる活歷史を有する竹內金庫は實に信用の凝塊なり

カタログ進呈

京城 熊平支店 電話長二四六 振替京城二二二番

◎煉瓦値上廣告

一 燒過壹等品	壹千個ニ付	金貳拾八圓
一 燒過貳等品	同	金貳拾七圓
一 燒過參等品	同	金貳拾六圓
一 並燒壹等品	同	金貳拾七圓
一 並燒貳等品	同	金貳拾六圓
一 並燒參等品	同	金貳拾五圓

但し京城、龍山、運搬賃を含は從來通りなるも市內遠距離及不便の場所は別に運搬賃申受け候

今般諸原料價格及勞銀益々騰貴に伴ひ不得止來る二十日より上記の通り值上實行仕候間多少共御用命願上候

大正八年七月

朝鮮窯業株式會社 電話(永登浦)二七番

永登浦煉瓦工場 電話(永登浦)五番

龍山煉瓦工場 電話龍山八三番

鷺梁津煉瓦工場

米國製品

暑さ御凌ぎには蓄音器と樂器に限ります中元御贈答品に最適當品として舶來(米國製)輕便蓄音器スチューワート器械が着きました初賣出し御披露の爲め貳百臺に限り

定價の貳割引金參拾六圓也で提供致ます賣切れぬ內に御用命下さい

(蓄音器と樂器の寫眞入定價表無贈呈します代致)

スチューワート器 販賣元 株式會社日本蓄音器商會 日本樂器製造株式會社 朝鮮總代理店

釘本樂器部 京城本町二丁目二十九番地 電話一二八三番 振替京城六八四番

英帝に御宸翰捧呈

倫敦滯在中西園寺侯牧野男は日本皇帝陛下よりの御宸翰を英國皇帝に捧呈し西園寺八郎氏も亦英國皇帝に拝謁仰付られたり(倫敦電報)

國務會議と追調印

訓電を支那委員に發す

國務會議は十五日訓電を巴里支那委員に發する事を可決し直ちに之れを發送せり該訓電の大要は英、米、佛、伊四國委員に對し公平なる仲裁を求め調停方法を定め若し以前に比較して更に一歩を進め得ば追調印を爲す可し若し此事成らざれば將來國際聯盟會議に提出するより外途無し墺國の講和條約には確實に調印して國際聯盟加入の基礎を造る事を希望すと(北京電報)

支那調印條件

既報の支那調印條件として陸徴祥氏が各國委員に提議せる青島還附の聲明書を日本より支那に交附する事右還附を英米佛三國より保障する事は既に大體各國委員の賛同を得たるも日本委員のみは之を承認せず目下尙ほ善後策研究中なりと陸氏より政府に報告せり(北京電報)

追調印の賛否

北京政府部內にては追調印賛成論あれども親米派は極力反對を唱へつゝあり(北京電報)

段追調印勸告

段祺瑞氏は十四日徐總統を訪ひ萬難を排して講和條約に追調印を爲さん事を望む旨述べたり(北京電報)

墺國と國際聯盟

國際聯盟に關する墺國の通牒に對する聯合國の回答は國際聯盟計畫に對する墺國委員の加盟に就いて滿足の意を與へ聯合國は墺國が國際聯盟に加入せんとする要求を愼重審議したりと云ひ且つ指摘して曰く聯合國は決して後日迄も墺國を國際聯盟より除外せんと欲するに非ずして却て國際聯盟は間もなく近く加盟の義務を遂行したりと信じ得らるゝ國家を悉く包括すべしとの希望と確信を有せり聯合國は墺國が講和條約批准後最初の機會に於いて國際聯盟加入を申し込むべからずとの理由を認むるものに非ず聯合國は墺國が國際的義務を履行すべき責任ある政府を有せりと確認すると同時に墺國を國際聯盟に加入せしめんとする準備あり(巴里電報)

米西岸航路開始

近く自由取引を許可せん

伯林特電=米國政府は大西洋西岸諸港より漢堡、ブレーメンに向け航路を開始するに決したる旨十一日公表せり西岸諸港には既に棉花其他一般商品を積み込み政府の許可を俟ち居る船舶多數あり同政府はポツタシユーム染料、化學工藝品の外は近く自由取引を許可す可しと(東京特電)

クルツプ工場賣渡不調

クルツプ工場は米國資本家に賣渡さんと交涉せるも米國人は投資の不安を恐れ之れに應ぜずと(アムステルダム電報)

孟張確執調停協議

吉林奉天兩省の形勢益々險惡となりたるより我が兩地駐在領事は居中調停に就き協議中なり(奉天電報)

我軍シマコフカ占領

死傷石井中尉以下八十名

陸軍省公表=十二日シマコフカ驛東方アルハングロフカ渡船場にて我部隊と過激派軍との間に交戰行はれ戰鬪後我軍遂に同地を占領せり此戰鬪に於ける死傷は石井中尉以下八十名にして敵は屍體四を遺棄せり(東京特電)

法制審議初會

會、第一總會開催審議方針決定所に依れば同會は前取調委員會[illegible]び取る可決定さる可し(東京)

連絡船上陸客 十五日

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

會計規則特例

穀價調節の爲め

政府は穀價調節の目的にて米雜穀の買入又は賣渡しを爲す場合隨意契約を爲すに就き會計規則に特例を設くる事に決し既に閣議に於て其の勅令案を決定し近く御裁可を經公布の筈なるが右勅令の內容は農商務大臣が穀價變動を調節する爲め白米雜穀の輸入移入買入又は賣渡しを爲す場合隨意契約を爲すに就き會計規則に特例を設け賣買手續を簡便にするにありと稱せらる此勅令制定は昨今の米價調節の爲め外米の買附け賣渡しに新活動を開始する準備なりと解せらる(東京特電)

勳章捧呈

東宮殿下に 和蘭公使參內

駐日和蘭公使は同國女王陛下より我皇太子殿下に御贈呈相成りたる最高勳章リオンメーランデー大綬章を捧持し十六日午前十時參內皇太子殿下に謁見し勳章を捧呈し皇太子殿下より親しく鄭重なる御言葉を賜り十時半退出せり(東京特電)

總督山公訪問

長谷川總督は十五日小田原に山縣公を訪ひ辭去後箱根福住樓に投宿十六日朝箱根より小田原に來り再び山縣公を訪ひ會談多時午餐を共にし更に箱根福住樓に引還せり(東京特電)

大島中將歸京

前青島軍司令官大島中將は十六日午前八時四十分著列車にて歸京せり(東京特電)

鐵道大臣未定

鐵道大臣は小川平吉氏との說あり己むなくば內相兼任かも未だ決定せざるものゝ如く已む無くば一時床次內相兼任し時機を見て專任者任命さるべく次官は石丸重美氏なりとの說あり(東京特電)

幣原氏米國大使任命說

幣原外務次官米國大使に任命せらるべしとの說華盛頓に傳へらるとの報あり(東京特電)

參事官出張

支那視察

芳澤外務參事官は北京青島視察の爲め約一箇月の豫定にて近く同方面に出張す可きが右は青島還附とは何等關係無しと(東京特電)

臨時法制審議會

臨時法制審議會は十六日午前十時より首相官邸に開會原首相より挨拶的意見の發表あり午餐を共にし午後一時散會せり(東京特電)

中村氏位授與

朝鮮紡織株式會社相談役前總督府技師中村彥氏が學士會の決議により農學博士に推薦されたるは既報の通りなるが右は愈々學位授與に決定し十五日午前十時文部省に於て學位授與式を擧行し同氏外五十五名に對し獸醫學、農學、工學、醫學、法學、文學博士の學位を授與したりと(東京電報)

編修局總裁と內大臣後任

園侯牧野男

西園寺侯は既電の如く歸朝後臨時帝室編修局總裁たる可く又牧野男は松方侯の後任として內大臣たる可しとの說あり(東京特電)

朝鮮總督府官制改正案

不日本會議に附せん

朝鮮臺灣兩總督府官制中改正案及び文官任用令中改正案が樞密院特別委員會に附議せられたる事は既報の如くなるが既に朝鮮總督府官制改正案に就ては十四五兩日を合せ政府委員との間十時間に亘り質問應答を重ねたるを以て政府側の說明は略之にて盡されたりと言ふを得可く伊東委員長は更に十五日夜八時より原首相と會見し官制に就きて意見を交換せる如く引續き同委員長の手にて研究中なるが不日本會議に附する事となる可し尙ほ之と共に關係法規の改正は略十種に及ぶ可く之等の全部の審議を終了し公布を見るは數月後なる可しと傳へらる(東京特電)

本年稻作良好

農商務省發表に依れば苗代より植付けに至る本年稻作は大體良好なり(東京特電)

新義州守備隊

新義州守備隊として平壤步兵七十七聯隊第一中隊は阿賀大尉引率の下に十五日午後四時新義州に到著せるが在鄕軍人並に官民多數の出迎ひを受け守備隊舍に入れり(安東特電)

朝鮮開拓進捗

守屋此助氏等によりて計畫せる當地永樂町二丁目の朝鮮開拓株式會社創立事務所にては今回新に工學士佐原辰雄氏を技師長に聘し同氏は去る九日より來任し目下同社營業の目的たる水利開墾に關する書類上の調査をなしつゝあるが目下物色中の技師數名の採用と共に不日各地に亘り貸地調査をなす由なり因に佐原工學士は大正水利の設計者也

不動產金融激增

最近約四千萬圓を超ゆ

朝鮮に於ける東洋拓殖會社金融部並に殖產銀行勸業金融部の六月末に於る貸出しは

東拓二千二百萬圓 殖銀一千六百萬圓 合計三千八百萬圓にして之れを前年同期に比すれば(殖銀は農銀)約二千餘萬圓の激進を來し拓殖金融の繁忙振りは著しき事實となりたるが今東拓支店に就き同社創立以來の貸出趨勢を聞くに左の如く七年以降突飛の增加を來し居れり

	萬 百圓
四十二年三月末	二二一、〇〇
四十三年同	二二一、〇〇
四十四年同	五八七、〇〇
大正元年同	二、一三七、〇〇
同二年同	三、四〇一、〇〇
同三年同	六、二〇九、〇〇
同四年同	七、五七二、〇〇
同五年同	七、二五〇、〇〇
同六年同	六、七〇八、〇〇
同七年同	八、二六七、〇〇
同八年同	一八、一六四、〇〇
同八年六月末	二二、〇六九、〇〇

見て差支なかるべく昨年十月殖產銀行の開業後勸業金融に盡力し約一千萬圓の增貸と相待ち此種資金の朝鮮內撒布は注目に値すべし唯未だ朝鮮の大を以てして不動產金融機關を通ぜる拓殖金融が四千萬圓に及ばざる一事は尙ほ前途發展の餘地の極めて多きを思はするが近來食料增殖問題より朝鮮の未墾地開拓並に水利事業は一般大いに注意されんとしつゝあり大小の計畫續出せんとしつゝある現狀なるが黃海道の延白水利の如き全北の東津水利並に益沃水利の如き何れも

灌漑面積は八千町以上二萬町步を算せんとしその他小規模の開拓事業は擧げて數ふべからず從つて茲兩三年中に此種の資金は大に放出さるべく更に各種事業の勃興は東拓並に殖銀に對する事業資金を求めんとしつゝあるに付その一億圓を算するは蓋し必ずしも遠からざるべし此問題は如何にして有利なる資金を移入するかにあるべし

上半殖銀成績

殖產銀行の上半期末業績を聞くに預金千二百五十七萬圓にして之を前年末に比すれば八百十七萬圓增加し尙勸業貸出は千五百八十七萬圓にて前期末に比し七百七十五萬圓を增加し商業貸出は二千二百廿一萬圓に達し四十八萬圓の增加なり而して同期殖產債券發行高は五百萬圓にて前年に比し二百萬圓の增加なりと

長安坪修復

江原道の過日の豪雨に決潰せる東拓所有長安坪の修復工事は閘門の修復を終り取敢ず第二堤防の修復を急ぐこととし十五日大倉組に請負はしめたるが工事費約二千圓二週間を以て竣成すべしと

活氣立ち

地方の資力著しく充實せしため土地改良開墾水利事業の續出せるにありとすべし

朝鮮上半貿易(二)

二億二千六百二十六萬餘圓

總督府關稅課長 矢鍋永三郎氏談

殊に本期貿易の著增は啻に物價騰貴に基づく價額の膨脹に止らず後に說明する如く其量に於ても亦著しく增加を示せるが如き畢竟富力增進の反映に外ならずして過般各地に勃發したる騷擾事件に際し一般經濟界に亘り之を觀察するときは往々幾分の影響を被りたるものありと雖も貿易上より之を觀るときは一部貨物が一時中央市場に停滯せしに止り數字上之が徵動をも感知すること能はざるが如き騷擾の短期間なりしによるとは云へ又以て地方財界が如何に活躍しつゝあるやを窺知するに難からざるなり次に

地金銀輸出

の不振は產金の增加に因る小規模產金業の減少せしと市價の騰貴に伴ひ鮮內に消費せらるゝもの多かりしとに依り自然移出の減退を見たるものとす

輸移出重要品

輸移出貿易增進の大勢以上のごとくなるが今重要品に就き其の消長を觀察するに米は制限令の爲輸出向極めて不振なりしも移出は內地に於る需給の不圓滑より市價斷へず硬調を持續し加ふるに休戰後海運界の緩和に連れ出荷を促進せる等の事由により前年同期に比し四十四萬九千餘石二千八百八十三萬餘圓を激增し從來不況なりし豆大は四月以降輸出稅の撤廢と滿洲大豆の硬調に伴ひ內地の吸收盛んなりしを以て

三百九十三萬

餘圓を增し昨年末多數の移出を見たる棄豆は一時の盛況に及ばずと雖も尙ほ引續き各月神戶へ向け殘荷の移出ありたる關係上百三十三萬餘圓を增進し其他漁業關係船舶特殊取扱ひの開始と、各地漁撈の好況に基づく魚類の三百三十七萬餘圓內地製鐵所に於る需要の好況に因る鐵鑛の三十八萬餘圓支那及び米國等に於ける葉煙草の需要の旺盛と消耗方面に於ける需用品として紙卷煙草の注文に基く

ウイルソン氏の解剖(一)

講和會議より見たる

ケー、エス生

六月十二日紐育にて

◎昨年十二月彼れが巴里に向つた時彼の名聲は世界を震動した米國人自身が此世界的な偉人を生んだことを誇つたのは勿論、パリーの美しい婦人も、イタリアの老人も、さては彼の母の故國英國の人々も僞りなき歡迎の花を彼に投じた。彼れの自動車は投げられた花に埋もれた。それは凱旋將軍を迎ふる人の心ではなく救世主をことほぐ虐げられし人々の喜びの淚であつた◎然るに何たることぞ、先づイタリアは未だ歡迎の叫びすら消えぬと思ふ間にウイルソン氏を罵倒して『去れウイルソンは善人だ、けれども無知なのだ、ウイルソンの此無知は若きイタリアの血を無駄に流したこととしまつた』と各新聞は筆を揃へて彼を攻擊した、二ケ月ばかりも前には世界的偉人として憧憬の辭を惜まなかつたのに……◎東の端てから米國の舊都へ飛んで居る世間知らずの私へも祖國の新聞が妻からと親しき友からと送られてゐる、何れの新聞もウイルソン氏と米國とを攻擊し出した、色々な所謂名士の談話が掲載せられた、何れも『山東は絕對に返すな』とか『ウイルソンは僞善者だ』とか、或は舊思想の大學教授の如きは『白晳公然と强盜を行ふもの』とさへ非難した。

◎日本とイタリアとが同一な態度に出たのは興味がある、行きつけのイタリア人の髪結が恰度此頃頻りにイタリアと日本とは戰爭だと云ひイタリアが戰爭するときは日本はイタリアを助けるだらうなどと私に話した、◎それはかりではない、フランスや英國の新聞でもウイルソン氏は餘りもてなくなつた、皮肉な或新聞では『大統領ウイルソン』といはずに『ウイルソン敎授』と呼び暗に彼れの事實に疎いことを諷した、◎全く人心は掌をかへすが如くに變じた、ウイルソン氏は僞善者か?日本から見た時彼は口には人道主義を叫び世界平和を主張し乍ら自國の利益をのみ主張する者と見ねやう人種的差別の撤廢と云ふ一目瞭然、正々堂々たる主張を排斥し、然もモンロー主義と稱する如き偏狹な帝國主義を聯盟條約中に書き入れたではないか更に聯合支配の名の下に日本から太平洋上の舊ドイツ領諸島を奪ひ之を以て太平洋上の權利を確保したではないか之のみならば未だよしとし山東省迄も日本より奪はんとした、◎かう云つてしまへばウイルソン氏はたしかに僞善者だ、萬國主義と云ふ假面をかぶつた帝國主義者だ。私は何もウイルソンから頼まれた譯ではないが眞理の探究は飽く迄も公平に、物にとらはれずに向はねばならぬ、日本と云ふ立場からのみ見れば却つて物の眞相は分からぬ、私はかう云ふ人々に其色眼鏡を棄て、望遠鏡を掛けよと勸める

海運賃引上

朝鮮米の各港積出し旺盛なると海運界硬調傭船料引締等を材料として最近商船尼ケ崎並に他の外船は仁川群山より阪神行穀類運賃を百石につき百八十圓より二百圓を徵し居れるが更に商船尼ケ崎互光商會等にては二十五日より釜山阪神間現行九十圓を百圓に引上ぐる事となりたれば朝鮮郵船會社にても內地船と共に釜山阪神間運賃を引上ぐるや否やは未定にて目下考究中なりと

東拓所有地

最近東洋拓殖會社の調査に係る同社所有地面積を聞くに水田畑その他合計七萬八千百七十六町步に上りその種別は左の如し

	町
水田	[illegible]
畑	[illegible]
山林	[illegible]
雜種地	[illegible]
合計	[illegible]

右の內支那に於ける所有地は四百九十五町にして畑百零九町、山林三百三十一町、雜種地五十四町步となる由

會講習會

朝鮮サモワール

サモワール會にては豫ての計畫通り同會事業の一部として來る廿一日より日の出町小學校に於いて一般露語講習會開催の事となり一般希望者の入會を歡迎する由なるが講習期間を六箇月とし主として會話に重きを措き漸次に進め講習後は修業證書を下附す入會金一圓講習料は毎月五十錢とし一圓五十錢を納付すべく日時は毎週月水金午後七時五十分より八時五十分迄講習者は永樂町二丁目同會事務所に廿一日迄に申込むべし尙ほ教科書は當分會より貸付の筈

臨時補助雇

郵便局

各郵便局に於る雇員の缺員容易ならざるものあるより遞信局は各局現業員中缺員又は缺勤者ありたる場合に於て其期間を限り定員外臨時補助雇員を採用し必要に應じ隨時各局に於て之を進退し得ることに決定せるが今其の內容を聞くに臨時補助雇員は官吏及び公務員以外の局所員の家族又は學生其他定業を有する者にして雇員として常時一定の職務に服し難き事情ある者或は日を限り或は時を限り服務するに於ては支障なき者を豫め採用し置き缺員又は缺勤者を生じたるときに於ては臨時現業事務を補助せしめ以て事務の運用を圓滑ならしめんとする爲めに設置したるものなり既に男女の別なく將た又內鮮人の何れを採用するも妨げなく而して該雇員採用の爲に要する給料月額は遞信局に於る定員內事務員の缺員又は日給雇員の缺勤に依り生じたる當月分の給料殘額の二分の一を超過するを得ざることとなし又府令定額の臨時手當ては之を給與せず尙以上の外其進退に關して一般雇員の例に依るべきものとせり

森總領事

今回濟南に轉勤せる森總領事は十六日午後九時二十分安東發列車にて大連に向へり(安東特電)

人事消息

▲大內暢三氏(代議士)十六日夜入城朝鮮ホテルへ▲納富重雄氏(農商務省臨時產業調查會技師)六日入城巴城館へ▲伊藤信郎氏(鮮銀滿洲四平街支店長)十六日夜退城▲菊地謙讓氏(民本新聞社長)十七日午前九時五十分發北行西伯利方面視察の途に就く▲小樽高等商業學校生徒廿三名同校教授中村和之雄氏引率の下に十七日午前九時半總督府を訪問せり

鳥瞰錄

此間臺灣の[illegible]化人で廈門[illegible]といふ人が勳五等に敍せられた▲此人生れは支那廈門であるさうだが臺灣の歸化人で此種の叙勳になつたのは餘り例がないさうだ▲其緣由を聞くに領臺當時此人は廈門から臺灣にかけて茶商を營んでゐた唯の支那商人に過ぎなかつた▲然るに其後臺灣に移住して日本に歸化し次いで爪哇に手を擴げて少からず成功した▲此當時不圖したことから今の齋藤前醫總監と知り合になり互に往復する內に面白い因緣といふので齋藤君は遂々此廊君と義兄弟の約束を結んで了つた▲すると間もなく廈門に居る廊君の母親が死んで廊君が困つたといふ知らせがあるや齋藤君は態々廈門まで出掛けて葬式に臨んだ▲此齋藤君の仕打は廊君をして日本人の義氣に泣かしめたさうで早速二人の子供を齋藤君に託して教育を賴むと共に心から日本の德化を謳歌する一人となつた▲此事を耳にした明石總督が『是でなくちや不可ん』と膝を叩いて感服したから事は彌々美談の折紙が付き▲當初齋藤前醫總監を物好きな奴だと內々冷笑してゐた連中も『やア偉い!』▲近來鮮人側の會社熱は恐ろしい勢で進むで來た▲新設、資本增加等屆出は指に遑ない程あるが一時の好景氣に伴れて設立したもの、二進も三進も行かない樣な悲境に立ちはすまいかと心配する者も居るが▲新設された會社は何れも米穀、海產物、綿絲布類の外に出でないのみならず、一億圓からの輸移出入に對して拂込資本額の百萬や二百萬の範圍なら決して差支ないと當局は說明して居る

活動寫眞專門雜誌 活動評論 八月號出來せり スグ書店に行け!!! オペラ評論 東京下谷南稻荷町 振替東京四一八一 活動評論社

幼年世界 少年世界 八月號 少女世界 幼年畫報

▲水泳ごつこ ▲荒木又右衛門 ▲木つゝきの話 ▲バイブル物語 ▲夏休ポンチ日記 ▲幼年世界讀本八月の卷 ▲逆さ浦島 ▲美代ちやんの守 ▲竹取物語 ▲海底の魔城 ▲月夜のゆめ ▲外濠山の獲物 特別懸賞 獲物しらべ

▲富士とアルプス ▲魚釣り ▲白い繪ばなし ▲太吉の故鄕 ▲少年發明器 ▲水泳場の珍事 ▲物語りのお城 海の底の朝 恐ろしい山津波 ▲針たつ國 ▲浪に踊る鰹 新案組立遊戯 飛行機 懸賞 お使に行く時 五百名の方々へ御褒美進呈 ▲忠義な犬の話 折針の自慢噺 怪魔の正體 雨の卯太郎 笛を吹きつゝ 大きな鯛 扇子合戰

東京本町 博文館

面白い繪ばなし 好きな女の子 怪塔の外國人 紅い玉と綠の玉 いのち拾ひ 沙漠の花

附錄 切拔手拭地 切拔山車 大正子供東海道 圖繪 箱根山ノ卷 暑イ日ノ氷水 小版オ伽 水鐵砲

百幅畫會

最新刊 大阪朝日新聞社編 八年運動年鑑 世界大戰以來 大阪屋號書店

解雇廣告 時松三良 丁子屋洋服店

不知火 定價 京城日報社代理部

荊妻ツク儀六日病死致候間此段辱知諸君ニ謹告候也 大正八年七月十六日 佐藤峰太郎 同博

水のほとり　（兒さん靜かにおしよ）

小學生體育問題

斯の如き注意を要す

一週に十二時間の運動は必要也

内外生

(一)學童の體格は校醫の檢査により上中下の標準は已に定められ居るところなるも學校及び校醫が之等

異なる體格 の所有者に對して特別の取扱ひ又は施設に就て配慮せられたるを聞かず即ち上(イ)の體格を所有する學童なるが故に云々下なるが故に云々各個に適當なる處置に出づべきものにして唯漫然と診斷し區別したる丈にては遺憾なり

先天性心臟 疾患ある腺病質、神經質遺傳梅毒ある者、近視眼の所有者、發達不良の兒童等の注意必要なり(ロ)一日二時間の運動時間を設くべし、一時間は午前中にて規則正しき正式體操及び深呼吸を行はしめ午後の一時間は娛樂的遊戲とす、一週に十二時間の體操は體育の時間を奪ふが故に多きに過ぐるとする人あらんか

吾人は大局 よりみて吾人の主張を是と信ずるものなり。(ハ)敎師は學童と俱に辨當を食し可及的麥飯を奬勵し、副食物は常習的に粗惡にして營養に障害あるおそれあるもの、甚しきは其旨注意の適當ならざるものは其旨注意を認めたる紙片を辨當空箱に入れ家庭に通知すべし。(ニ)寒暑

吾人は休暇 を全休せざらん事を主張するものなり、休暇中に宿題を課するの可否は當事者に於て議論ある所なるべきが其存廢に關せず、即ち休暇中毎日朝一二時間、二三級を一組として趣味ある偉人の談話、新聞に取材せる時事問題、また簡單なる機械の解剖說明、又生徒各自の談話會を開き一時頃より敎師引率の下に見學などを試むべし(ホ)敎室及び校庭の掃除は學童をして淸潔に

理解の涵養 の爲めに施行せしむべきものとす。但し其の方法たるや箒、はたきを使用するは塵埃を飛散せしめ呼吸器を侵さるゝおそれあれば濕式を取るべし。板の間、土間に充分撒水し、然る後雜巾を以て拭ひまたは帚を使用す(ヘ)兒童罹病にて診斷書または敎師の訪問により缺席の途儀なきを知りたる時は之を缺席とせず

安じて休養 せしむべし。出席簿あるが爲に焦慮の結果疾病の治癒を遲延せしむる事あるは往々見る所なり(ト)現今學校衛生としてのトラホームはあまりに重大視されたる傾きあり、尤も傳染性を帶びたる該疾患の撲滅は望ましき事ながらトラホーム以上に熱心すべき他の幾多の疾病に向つても亦

注意すべき ものとす而も精神病學的心理狀態に對する看視、後年青成年に至りての能率に重大なる影響を及ぼすものなり(完)

世界改造と 地理科

京城中學校では如何して居る

講和條約の調印批准によりて世界地圖の色別けが變ることになるに就て京城中學校地理科擔任寺本敎諭は語る獨逸領土の割讓區域の處分は確定してもダンチヒ港とかポーゼン地方等が國際管理になるらしく其他西亞弗利加のギネア灣沿岸の處分が

英佛相互 の間に交換條件を提出され未定の現狀であるから敎授上には嘗に將來地圖の色別變更の必要ある事を言ふのみで敎科書は昨年度のものを使用して居ります外國地理は三學年級から敎授します幸ひに暑中休暇後に獨逸の事を敎授する事になつて居りますから

其の時分 には色別も確定しましやうし又獨逸の政治狀態に就ても大いに說明する必要があると思ひます來年一月頃になれば吾々の手を煩はさずに敎科用として新しい地圖や地理書も出來ましよう云々

明治民權史を飾る

波瀾萬疊の生涯

幾多の傳奇的話材の中に尤も光輝あるは岐阜市に於ける遭難事件

薨去せる板垣退助伯

明治民權史上の巨人板垣伯は十六日午前三時四十分八十三歲の高齡を以て遂に薨去した。維新の當初、縱橫の快辯を以て王政維新の大業を畢賛、自由民權の思想を高唱し機略膽勇一世に秀で政界に在りては常に大立物として

薨去せる板垣伯

國政變理 の任に當り、至尊の御覺え目出度く國政引退後は國家的代表人物として民の信望亦厚かりし國寶的人物を失つたとは國家の爲に悲しまざるを得ない、伯の一生は他の雄に見る夫れの如く波瀾の歷史光輝ある頁を以て綴られて居る。伯は天保八年高知中島町に生れ祖先は

武田信玄 の驍將板垣駿河守信形である。父正成は年十八歲にして心氣昏亂して前妻を離別し林勝重の女を娶つて後妻とした。是れ伯の生母であつて賢母の譽高く一代の俊英は此母の手に依つて育てられた。伯は幼少から英邁豪宕好く人と爭ふたが惻隱の情深く一日門外の乞食に姉の外出用の美服を與へて

母の嘆賞 を買つたこともあつた。十三歲の時生母に死別し、繼母に仕へたが實母同樣に孝養を盡したので繼母も亦深く彼れを撫育した。十五六の時代には性行放縱亂暴を極め殆ど手に負へざるなき有樣であつた。十九歲始めて江戶に出て幾多の英傑に接し讀書修養に志した。其後伯は幾度か幕軍と轉戰し或は討幕論を唱へ、或は民選議院設立を建白し或は

自由黨を 組織し或は憂國に列する等寢食を忘れて國事に奔走した。其間勿論伯の一生を彩るべき幾多の傳奇的話材があるが、其中で尤も光輝ある頁は岐阜市に於ける遭難事件である。時は明治十五年四月の六日、伯は自由黨の主義政見を知らしむべく先づ東北に遊說し自由民權の旗幟を翻しつゝ、岐阜市中敎院の懇話會に臨み機嫌を損つた後『少し氣分が勝れないから』と列席の人々に斷つて

獨り退席 し玄關で靴を穿たんとする間一髮、刺客相原尚褧は一聲叫んで伯の胸部を刺した。伯は不意を撃たれて臂を以て刺客の腹部を衝いた。刺客は後に飛び退り再び突き進んで伯の左胸部を刺して。然し伯は兇徒の手を押して相爭ふ刹那内藤魯一馳せ來つて、兇漢の襟首を摑んで後に引き倒した。咄嗟に伯は兇漢を顧み『板垣は死すとも自由は死せず』と叫んだ何と云ふ

壯烈な叫び であらう！此の遭難事件、此の言葉は世間周知の言葉であるが伯の一生否明治民權史上を飾るべき言葉であらう。伯は其時頗る危險な狀態に陷つたが幸ひにして一命は取り止めることが出來た明治三十一年政界を引退した後も陰に陽に武士道其他各般の社會人心指導の任に當つて居たことも世間周知のことである。

板垣伯略歷

舊高知藩士板垣榮六の男にして天保八年四月十六日を以て生る幕末天下の志士と交を結び勤王の大義を唱ふ。明治初年、東山道總督府參謀として甲州勝沼に近藤勇の兵を破り進んで野州に戰ひ白河を陷れ會津を降し米澤を歸順せしめ亂平定の後は參與に任ぜられ翌年參議となり賞典祿千石を賜はる。同六年西鄕隆盛等と征韓論を主張したが容れられず野に下り翌年一月副島種臣後藤象次郞等と民選議院の設立を建白したが又容れられず歸鄕して立志社を創立し大に民權自由の說を高唱す、同十三年國會期成同盟有志大會を大阪に開き其議を決し愛國公黨を組織し各地遊說の途次偶々岐阜に於て相原某の爲めに要擊せらる。同十五年後藤象次郞等と歐洲に航し政況を視察し歸朝の後專ら力を政黨組織に盡す、同廿年五月特旨を以て華族に列し伯爵を授けらる。同廿三年立憲自由黨を組織し其總理に推さる。後伊藤内閣に入りて内務大臣となり、同卅一年六月憲政黨内閣成るに當り再び入りて内務大臣たり。此年十月辭職を上奏し内閣爲めに瓦解せり、爾來政界に意を絕ち專ら社會敎育に意を注ぎ傍ら武士道を激勵せり

交換手の寫眞會見

お互の親睦から通信の圓滑を圖らうと云ふ企

大田局から何卒お心易く……と關係各局へ

近時朝鮮各都市に於ける市外線、電話の取扱は著しく繁忙になつて來た。殊に大田郵便局の如きは釜山京城湖南線方面の中繼局に當るので其の執務は益々

煩瑣の度 を加へて來たに從つて申し込各局交換手との間に執務上往々錯誤や衝突を起し意志の疏通を缺ぎ延いては通信の圓滑を妨ぐることが尠くないので江越大田局長は其の缺陷を補ひ通信の運用を完全ならしむる爲めに種々と

研究を重 ねた結果次のやうな一計を案出した。即ち同局係各局の交換手をして一度相會せしめ個人的にも親睦を圖つたならば執務上にも多大の効果があらはれるであらうと思はれるのであるが一所に會合すると云ふことが職掌柄

頗る面倒 であり且つ不可能かも知れないので寧ろ同局では交換手一同を寫眞に撮影し其の裏面に各氏名を記入し『將來何卒お心易く願ひます』と書添へ京城、釜山、大邱、鳥致院、江景、群山、淸州、公州等の關係各局に宛夫々送附し

寫眞會見 を申し込んださうである。眞に良い思ひつきであつて交換手同志がこの寫眞に依つて相互に親和の情を溫め而して執務上の圓滑を圖るとともに於いて相當の効果を收め得ることは確かであらう。

御成年式と 恩赦

前例なし

東宮御成年式並に世界大戰講和締結につき近く違警罪違犯者に對し恩赦の大命降下すべしとの說あり之につき某當局の談に依れば恩赦は大權の發動にて臣下の揣摩臆測を許さゞるも之を

今日迄の 例に見るに大赦又は一般的特赦減刑の恩命降下したるは明治初年の御即位式、憲法發布、英照皇太后、昭憲皇太后、明治大帝の御大喪等國家大慶弔に際し何れも對內的關係の場合に限り對外關係に於ては條約の改正及び國を賭して戰ひたる

日露戰役 の時も何等の御沙汰を拜したる例なく又御成年式は最大慶事たるは勿論なるも之が恩赦を賜りたる新例なく今回右につき其筋の御詮議により特赦をなすべきもの、調査中なるは事實なるが這は平時に於ても刑罰の調節上常に多數の囚人につき特赦を行ひつゝありて今回特に特赦を內示したるにあらずと云へり

河内引揚は

頗る難工事

德山灣に於て爆沈した軍艦河内の引揚工事は東京淺野の請負にて某技師主任となり港に事務所を置き德山海軍技師指揮の下に作業水夫職工二十餘名を指揮して作業中であるが作業頗る困難で一個年を經過せる今日迄に漸く五分の一を引揚げたるに過ぎず殉職者の發見されざるもの九十餘名あり此等は容易に搜索し得らるべきも難の外は堆積し置きし火藥管の如きは仙島乾燥に其他危險物は海中に浮標を附して沈め見張番を置いて警戒中である尚ほ全部の引揚げを了する迄には今後一箇年を要する豫定であると(德山)

新國債

愈々賣出した

郵便局へ申込めば買つて貰へる

政府は旣報の如く小額國債額面廿五圓、五十圓、百圓の三種一千萬圓を十六日から廿五日迄日本銀行本支店並びに全國各郵便局から賣出す事となつた右に就き服部京城郵便局長は語る「小額國債の賣出に就ては未だ

何等の通知 はないが政府は貯金の勸誘在住者でも貯金のある者に限り額面廿五圓は十一錢、五十圓は廿五錢、百圓は五十錢の購入手數料を出して局に納入すれば購入して貰ふ事が出來且つ保管して貰ふ事が出來る

其の手續は 各郵便局備付の購入及び保管請求書を貰つて之れに額面及び枚數を記入し手數料を添へて差出せば其郵便局は請求者の貯金通帳の中から購入額面丈けの金を引き政府から購入して

保管して吳 れる國債を保管證書を送つて吳れる事となつて居るから若し購入者が出來なくなつた場合は取扱郵便局の手を經て購入者へ

返還する筈 であるが若し購入者が出來なくても請求者は損する憂ひはない又此國債の便利な事は利子を貯金中に繰入れて置いて吳れる事である其上若し不用で賣り度い場合に其の旨局に申出づれば政府で買ひ取つて吳れる是れも便利な一つであらう」

……二橋頭荷揚場附近の筏の上より誤つて水中に滑り落ち行方不明となりたる爲め附近の騷ぎとなり屍體搜索に努めたるも容易に見當らざりしが十三日午前十時頃浮び上がりたるを收容したり(安東特電)

同志社大學生音樂團演奏

旣報の同志社大學音樂團は十七日午後七時五十分南大門驛着直ちに有志の家庭に分宿することゝなり、十八、十九兩日は午後八時より京城基督敎青年會の主催の下に長谷川町日本基督敎會に於て演奏會を催す筈なるが其部員及び曲目左の如し

部員　湯淺永平△マンドリン獨奏者山田陸俊、古内廣武△ピアノ獨奏者陳淸忠△ピアノ演奏者陳淡　△ヴァイオリン獨奏者田島光三

曲目

第一部

△三部合奏ヴァイオリン、ピアノ、マンドリン△四部合唱　若松傻吉(シューベルト)メリーサンノ小羊△マンドリン獨奏南ノ微風(學生歌)△四部合唱深流ノ船オイジョン(?)△ヴァイオリン獨奏綴徐曲舞踏曲(ゴセツク)△ピアノ獨奏

第二部

△マンドリン獨奏△四部合唱白菊……

鴨綠江に落つ

安東……四番通り八丁目[illegible]商鮮人白[illegible]の妻趙氏(二〇)は十二日午前中頃鴨綠江岸に洗濯に出かけ……

安東麥酒拂底

安東にては大相撲興行當時多數の麥酒を消費したると後荷不著の爲め麥酒拂底を告げ各料理店は頗る狼狽し居れり(安東特電)

放火犯人逮捕

平安南道德川郡德上面[illegible]方雲日(三四)は去る四月十五日その叔父なる方彩周所有水車小屋に放火しそのまゝ逃走したるより其筋にて嚴重所在搜査中去る六月廿八日午前十時頃[illegible]附近を徘徊中を逮捕され目下取調中(平壤)

娼妓の髮切

本籍長崎縣南松浦郡岐宿村生れ當時大邱府八重垣町遊廓松鶴樓抱へ娼妓藤子事西村ミね(二四)は本年四月前記松鶴樓へ抱へられたるものなるが去る十二日晩樓主に金錢の無心を云ひたるも樓主が之に應ぜざるより自棄ッ起し强かビールを呷りたる上翌午前四時頃自己の頭髮を結根よりプツリと切り取りたりと(大邱)

電車を轉覆す

乘合せた巡査補頭部に負傷す

鮮童二名が轢き倒されたのを目擊した群衆が投石した上

鍾路二丁目の椿事

昨夜八時五十分鍾路三丁目商成社附近に於て鍾路一丁目より東大門に向け進行中の百廿三號電車が鮮童二名を轢き一名を即死せしめ一名に重傷を負はせたる椿事あり右事件の經過は未だ明瞭ならざるも今取調中にて判明せざりしが取敢ず其槪要を摘記せんに被害者は[illegible]洞百三番地金永錫次男逸龍(一五)及氏名不詳(一〇)の兩人にて逸龍は電車の前輪に觸れて其場に即死し他の一名は逸龍を救はんとして同じく重傷を負ひ醫師安商浩氏方へ收容されたり如何なる弾みにて斯かる椿事を惹起せしか其の原因は不明なるも同時刻は恰も散步時刻にて鮮人の出盛りなれば椿事出來ると見るや忽ちにして黑山の人山を築き其慘狀を目擊せる者等は直ちに電車を目蒐けて投石を始め不穩の狀を極めしに依り車掌及び運轉手は直ちに交番に逃げ込みたり斯くと見たる群集は盛んに投石し中には數十斤の石を投げ付けて暴行至らざるなく電車を破壞せんと企て乘客の避難し終るや直ちに同電車を線路外に轉がしたり一方鍾路警察署に於ては急報に接し直ちに巡査數十名を現場に急派しパゴダ公園前に駐在せし憲兵五六名亦直ちに急行し暴行者數名を逮捕し漸く鎭靜に歸せしむるを得たるが右投石の爲め同電車に乘合せ居たる巡査補某は頭部に負傷せり斯くて騷擾一段落を告ぐるや急報に接して現場に急行せる京城地方法院玉名檢事は大田書記と共に運轉手其他責任者を拉して一應東大門の電車課に引揚げ直ちに取調べを行ひ深更に及び鍾路署に立寄り神崎署長其他と何事をか打合せたり、轉覆せる電車は人夫數十名にて十二時頃漸く復舊するを得たるが當夜の現場は深更まで物々しかりき(午前一時記)

……懇意中なる[illegible]の審査不決定[illegible]法律取調委員會[illegible]特別委員會に回附……決定を待つて總督開會確其定の……案を審議する筈なるが……

（參拾貳名）石渡[illegible]……安氏名……

大阪株式

銘柄　十六日後場大引　十六日前場比較

[illegible]

京城府告示第一六號
大正八年度京城府歲入出追加並更正豫算左ノ如シ
大正八年七月十三日
朝鮮總督府京城府尹　金谷充

大正八年度京城府歲入出追加更正豫算
歲入經常部
第五款　雜收入　金千九十九圓
第一項　物品賣却代　金千九十九圓
經常部計　金千九十九圓
臨時部
第一款　繰越金　金六千八百五十三圓
第六款　財産賣却代　金八千三百四十圓
臨時部計　金一萬五千百九十三圓
歲入合計　金一萬六千二百九十二圓
歲出經常部
第五款　汚物掃除費　金千九十九圓
第四項　需用費　金千九十九圓
經常部計　金千九十九圓
臨時部
第一款　臨時手當　金六千八百五十三圓
第一項　職員臨時手當　金千六百三十九圓
第二項　傭人臨時手當　金五千二百十四圓
第二款　土木費　金八千三百四十圓
第一項　道路橋梁費　金八千三百四十圓
臨時部計　金一萬五千百九十三圓
歲出合計　金一萬六千二百九十二圓
歲入出差引殘金ナシ
大正八年度京城府歲出更正豫算……

平和紀念と新債券　いよ〳〵來月くじ　二千四百……
即賣一通　十圓二十錢　外送料十二錢

來月くじ債券　二千四百多數
種類　賣り値　……
當選債券三十一(送料二十錢)

每月くじ組合債券（賣り値）
（甲）六六、六七　六八、七一　六七、六九（三十九圓四十錢）
（乙）七一、七二（四十圓）
（丙）さ、ち、り、ゑ　四七又は三〇（三十八圓十錢）
福岡市博多下呉服町　組合せ債券福岡實社持
勸業債券月報社福岡支店　振替口座福岡九五〇番　電話一五四五番

金牌受領
本椿香油
男女頭髮用　椿本ポマード
宮内省御内儀初め九條公爵家其他華族方御常用之榮を蒙る
毛を黑く長くつやを出し
赤毛くせ毛ぬけ毛枝毛を防ぐ事妙
本舖　大阪西横堀　三宅堂

穀物、海產物、綿毛、布木、紙物、皮物、其他
貿易並委託賣買
釜山府大倉町八ノ五　電話三四五番
主一商會
主務　崔演武　孫永詢

◇店員募集◇
執務地……浦鹽斯德
一、簿記の素要ある者　數名
一、甲種商業又は中學校卒業者　數名
右志望の方は自筆履歷書に寫眞を添へ御申込相成度候
履歷書到着後面會日通知を發せざる方は不採用と御承知成度尙返附書類は返却致さず候
京城南山町天眞樓內　清水哲太郎

萬年ペン修理と販賣　京城本町　振替　電話二五二　ウツボヤ洋行

旅行鞄月賦販賣會
甲種　一組一百名　六ケ月滿了　每月一回　金七圓掛
乙種　一組一百名　六ケ月滿了　每月一回　金五圓五十錢掛
◇方法　甲乙種共各抽籤ニ依ル事
◇申込　七月二十八日迄ニ會費一回分ヲ添ヘ御申込ノ事
◇期日　七月三十日ヨリ開始
入會希望者ハ御一報次第詳細ナル規則書贈呈ス
京城明治町二丁目　古賀喜鞄店　電話一八三三番

主婦之友　八月號　煩悶解決號
夫の放蕩を改めさせた妻の苦心
◎煩悶者の相談相手
◎婦人の運命判斷
◎夫を罪から救つた婦人
◎痔疾を全治した實驗
◎肺病の初期の治療法
◎素人に出來る美顏術
「子爵の令孃」
長篇小說　金扇
定價廿五錢
東京神田表神保町　東京家政研究會

京城西小門町一二地番
田中丸病院
院長　醫學士田中丸治平
副院長　醫師上野和夫
【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり　電話八八五番

みだれ咲き 第九十回

島山碧波作 森田久畫

下の關へ朝の九時過ぎに著いた龍雄は、河合家の令孃蓮子と連れ立つて關釜連絡船の棧橋へと急いだが、偶と氣が付いてポケットへ手を差し入れると、見る見る内に顔の色を變へて呀ッと叫んだ、と同時に後を振り返ると蓮子の姿は見ゑ無かつた。

『どうしたのだらう』

彼れは慌てゝ制服の內隱しを探つた、が何時何處で紛失したのか釜山までの切符を入れてある蟇口が紛失して居る。

『困つたことになつたなア』

泣きさうな顔をした彼れは、慌てゝ棧橋の方へ行つて見たが、煙の如く消ゑてしまつた蓮子の姿を見出すことは出來無かつた。

『妙だなア何處へ行かれたのだらう』

彼れは狂氣の如くに引き返して來て赤帽に訊して見た、蓮子の年齢から扮裝を語つて訊して見た。

『そんな婦人なら構內の川卯旅館へ入つたやうです』

『さうですか』

龍雄は肝腎の蟇口よりも蓮子の行方ばかり氣にして居た、萬一蟇口の無いやうな時には、行く先が同じ京城であるから、一時旅費を立替て貰つて先方へ著いて返濟しやうと思つて居た。

『そんなお方は入らつしやいません』

川卯の女中は怪訝な顔をして龍雄の顔を熟視して居た。

『貴郎どうしたのです』

一こしきり雜沓したホームの人が門司へ渡つたり、連絡船へ乘り込んで靜かになると、驛員の一人は龍雄が迂路々々して居るのを眺めて聲を掛けた。

『實は錢入を落したもんですから、連れの者を探して居るのです』

『おうさうですか、さうして貴郎は何處からお乘りです』

學校の制服を見れば東京からと云ふことが判るが、驛員は頗る序こして乘車驛から訊して。

『實は一昨晩の十一時に東京驛を出た列車で品川から乘つたのですが、途中で大阪へ一寸降りて今著いた特急へ乘り替て來たのです、處が切符を入れて置いた錢入を落してしまつたもんですから夫で同行者を探して居るのです、此の驛まで一緒に來て急に姿が見ゑ無くなつた者がありますから其の者を探して居るのです』

驛員はニヤリと笑つて。

『其卸同行者と云ふのは年寄かの卸懇意の方ですか』

『イヱ列車の中で知り合になつて互に行く先が京城だもんですから、非常に親密にして此の驛まで一緒に來たのです』

彼が偽らざる告白をすると、驛員はさも氣の毒さうに龍雄に向ひ。

『其の御同行者が掏つたのです、貴郎が懇意にして來た者が汽車稼の賊だつたのです』

『わッ……』

龍雄は唖然として二の句が出なかつた、が彼れは相手がそんな者で無いと信じて居るから、驛員の言葉を一笑に附し去り。

『夫は違ひます、僕の懇意にして來たのは、子爵河合家の令孃で蓮子さんと云ふ人なんです、然も其の人は僕の姉さんと學校友達なんです』

斯う云はれると、龍雄の同行者を汽車稼の掏摸と信じた驛員も、些か手持ち不沙汰のやうであつたが。

『さうして貴郎の御住所とお姓名は？』

『僕ですか』

忽ち返答に詰まつた龍雄は、言葉の端を濁らして。

『僕……僕は東京の者です』と答へるが心の內に多少の恐怖があるから、其の一擧一動が驛員の眼には非常に怪しく映じた。

『警官……警官……』

龍雄の手首をグッと掴んだ驛員は、大きな聲を出して構內の警官を呼んだ。

孟蘭盆の話

七月十五日を孟蘭盆と申ますことはその昔、佛のお弟子さんの目蓮こいふ人がお母樣をお助けした時からであります、目蓮尊者は神通力を得た方でしたがある時餓鬼道へ行つて見ますと阿母樣がその中に入つて苦しんで居ります、デ、それを助け樣と食物を持つて參りました處その食物がお母樣の口の前まで屆かぬ前に火焔を生じて燃て仕舞つたり、また漸とのことで口まで屆きましてもお母樣の咽喉が針の穴の如く狹くなつて食られなくなつたりしてお母樣の苦しみを增す一方です、そして目蓮尊者はお母樣を助ける方法を佛樣にお願ひしましたら佛樣は目蓮に百味の飲食を盆に供へて總て傷われたる人にお與へなさいと被仰いました、依つて目蓮は百味の飲食を盆に供へて總ての人に與へましたので自然にお母樣も助かつたこいふのでその日が丁度七月十五日であつたそうです

日報歌壇 白虹選

□ 美沙出てふじ（京城）

山すその麥の畑に風渡り陽はみなぎらふ眞晝なりけり

山かけて麥の穗並をわたる風そよろに光る眞晝しも

足袋の山のなぞへに晝たけて麥の穗並を風そよわたる

眞晝日のいたくし照ればたへがてに並木青葉のかげにいこへる

桐の葉の今はもゆれず晝たけて向ふ丘べゆ蟬のぼれり

雨のふりの靜けさ小雀ばも桐の葉ごもり鳴きしきり居り

□ 山啾 春郞（京城）

風通ふ小高き丘の青葉かげ皆しうまゐなむさぶりてけり

うまゐよりさむ眼覺むれば日は過ぐ青葉さやらにゆれ輝けり

月見草ゆふべ靜かに物思ふ少女の如く咲き出でにけり

はなだ色の空靜かにも暮れてゆく夕は戀し遠居の人よ

□ 片男波（永登浦）

障子の上一尺ばかり染めのこし松を離れし月さやかなり

□ 紅 鈴女（龍山）

小夜くだち何所か知らず笛の聲聞けば悲しき君なこそ思へ

□ 大東夢路（京城）

泥にまみれ打ち伏す稻を痛ましく夕日さすなり氾水の跡

濁り江の流れごよもし黒雲の斷れまを照らす月の青さよ

□ 貝谷砂丘（永登浦）

夜あがりの雨降りけらし芋の葉の皆打ちぬれて朝眼すがしも

ひなた雨にいのちうれしきま椋の子はつゝなくしやぼん玉吹く

和歌の浦や引き潮時を爪赤きしほまねきさふ蟹もありけり

□ 草 夫（旅順）

あひ向ひ木挽男の木をきるさ大鋸に手をかけにけるかし

ざく／＼さノコひく毎にきり屑のしらく／＼散るも悲しかりけり

あはれ彼の木をきる男日毎日毎木をきりてなり飽かぬ事かも

月だまりに物も云はなくきる男木をきりあへず萎にけらしも

日報俳壇

●霞月居小集句録（永登浦）

七月二日夜驛前齋藤霞月子宅階上に於て同人の小集会を催し、兼題『紫陽花』並に席題『扇』の互選を總り次會の兼題を『盆』五句と取り極め十一時散會す（福田黄線報）

○紫陽花や雨中乾ける松の幹　安達綠童

紫陽花や碧天ながら遠き雷

白扇や松間の砂を亭へ路　齋藤霞月

○紫陽花や雨に暮れたる山の莊

扇鳴らしつゝ手で去る人暑し　満江　三葎

○木屋町の夜を拾ひけり舞扇

行潜に見し紫陽花や欞子窓　宮田都落人

○丸潜から紫陽花に盡る午後

論果てゝ月夜を歸る扇かな　福田黄線

○白扇や船の中なる喪笠人

紫陽花に又飲むよべの樂かな

紫陽花に雞時告ぐる日中かな

●洪城吟社詠草　纖

○瓦燈に扇燥めく舞中座かな　鬪

○風鈴頭の男眼ふて遁りけり　獨舟

○畔に捨てし錢と笠　夏ヒ入る　枯木

○疑かれぬ旅の一夜や水鷄啼く　洒川

○更けて又桑刻む音や遠水鷄　木公子

○亡き友の忌を修す夜や水鷄鳴く　無聡

○宴果てゝ月になる縁の扇かな　石柏

○初夏や一八の家の豊櫃　若閑

○鄉校田を浴ぐ水や鳴く水鷄　寸鐵

○初夏や鰈干したる濱の家　石泉

○夏に入る山家に醫師の佛かな　涼火

●夏の句を募る　京釜線永登浦松山芳宙宛直接送付ありたし

新刊紹介

▼實驗 養蜂經營法（野々口淳一著）一時養蜂事業は隆盛を極めたるも蜂價並に蜜價の暴落に伴ひ一時衰微を來したるが最近再び蜜價の昂騰により再び第二期の養蜂隆盛期を迎へんとしつゝあり、此時に當り本書公刊を見る、誠に時期を得たりと云ふべし、今其內容を檢するに總て實驗に基礎を置き追業家の方針より經營の諸方法販賣の方法、收入支出の概算等細大洩さず順序よく之を論述し行文極めて簡潔なり、一般農家の參考書として之を推奬す（一圓八十錢愛知縣中島郡與町養蜂界社）

▼ツーリスト（四號）和文欄と英文欄とに分ち、和文欄には夜の歌（若月文學士）旅と文學、旅行に對する注意、避暑地に於ける新設備と滯在費等な又英文欄には京都及び其の庭園、香道、日本風俗七夕、旅の印象、高雄の一日、熱海行等あり（四十錢東京市東京驛內ジャパン、ツーリスト、ビューロー）

▼少女（八月號）美しき口繪を卷頭に面白き讀物には山の淸水、湘水の薔薇、貝で出來る圖案、富士の旒へ、母なき家、青葉かげ、可愛い讃家、姉を尋れて、日光の曲、思ひ出草、千人結び等を收む（廿五錢東京市京橋區南鍋町二の一二時事新報社）

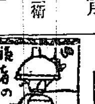
▼子供の友（八月號）美しき繪話し、面白き讀物等總て片假名程度の幼兒の爲めに編輯されたるもの（十五錢東京雜司ヶ谷上り屋敷一四八號婦人の友社）

▼新少女（八月號）少女に適ぼしき優しき物語りを集めたり、主なるは月見草、蟹の恩返し、文鳥のよろこび、繪馬の日記、隱れんぼ、拾てに行つて拾つて歸つた話等なり（廿錢東京雜司ヶ谷上り屋敷一四八婦人の友社）

▲少年（八月號）夏期季特別號にて內容極めて豐富なり、消ゑ行く虹、獅の笛、父が遺品の一文字、翼の無い鳥と飛ぶ獸、戰友の亡骸等何れも面白し（廿五錢東京市京橋區南鍋町二の一二時事新報社）

▼世界少年（八月號）誌上世界探檢旅行記號と題し佐藤紅葉、筒井春香、仲摩鐵堂、川目進、森田ひさし等執筆せる面白き旅行記あり口繪の寫眞小說金波銀波、何が釣れたか等何れも涼味掬すべし（廿錢東京市麴町區山元町一の三新光社）

◎新輸入のビスケット　ビスケットの覇王と稱せられたる英國ハントレー、エンド、パルマース會社の製品は戰爭中は陸海軍人に供給し結果一般需用を缺き居りしが一旦平和克復風來ると共に再び同社の製品の輸入を見るに至りたれば一般需用者に愈すべし（釜山）



『私の言葉』私は何でも下手な方に屬きます、私は俳句が下手で困つてゐます以後は勉めたいと思つてゐます短かくて重く易い樣で六つかしいのも俳句だと思ひます、それだけ愉快な氣がします大方の諸士の指導を乞ふ（京城松本讃華）△貴紙に於て東京大阪名古屋間の通引勸業債券の當籤番號有月御記載を願ふ譯には參りませんか出來るものなら御願ひ致します（篠谷生）△馬車に乘り馬に乘り自動車に乘り得る高地位の人が好つて振る事しても一人で通路の人片側を被射の如く徒歩する有樣を見ると敬虔の念が湧く者だ日外龍山の某將軍が和服姿で散策し平然として田夫野人に應接せられた話や最近京城の某將軍が一人でてくるのを見聞すると敬虔の念が油然さく嬉しい感じがする成金紳士なぞは少し見習つては如何（一大信者）△廿二日午後六時頃櫻井町二丁目邊から石坂町の電車通りの所某氏の移轉荷車にて手を服かれし節通り掛りの御方御親切に早速少女を抱き上げ十三歳の子守に荷車夫の朝鮮人を捕へよく御注意の上同通りの御院に少女を送込み下され其上に外傷局部なハンカチーフにて繃帶致し下され共時御名前を御伺ひ申して御聞かせ下さらず何處へか御歸り遊ばれ申しても知れ申さず御禮參上も成り兼ね申しますから誌者欄分欄にて御禮申し上げます（少女の親）▲私は騰貴の今日俸が月給三十圓で一家五人暮し加ふるに病人あり誠に或る處に勤めて居る次第です物價を抱へ滿足に働く所の出來ぬ有樣です困難して居るものですが午後六時頃からどこかで使つて下さる處はありませんか御心當の方に御手數ながら本欄で御知らせ下さい御願いたします（御願生）

> 專賣特許　ケイフ　一名ガラスふきん
>
> 在來の硝子ふきんの如く器物藥品を要せず手を汚す事なくやすく／＼ときれいに磨けいつ迄も使へる徳用な便利なガラスふきんは又西洋食器などのあぶら氣を取るに最も妙なり是非一度御試しをこふ　見本一枚十八錢送料二錢
>
> 京城太平通り　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番　電話長六〇九〇番

大阪財界便り

海運界の好況に向へる結果三三[illegible]造船界の中には既に[illegible]せず先行如何なる成行を呈するかまだ見當が附かぬ[illegible]相場の[illegible]

てる造船用板鐵は目下內地の[illegible]ば極閑散であつて造船界は海運界が引き續いた悶活氣を呈して居れるが先物[illegible]如何なる[illegible]

砂糖は無標準　十圓以下に低落せざるべく觀測されるくなりし爲政府の調節謀に拘かされ四十七圓五十錢迄大瓦落を給の不均衡に際する內地相當の[illegible]無茶高は合理的需給關係を無視し[illegible]過せざるに三五圓の變動を見るが如きに徵しても糖價が如何に危險分子を含んでるるかが判る

じ又瓜哇糖況も引き續き强硬にて十一、二月積貢双三十六盾五十仙にて賣り物なしこの事は[illegible]

銅　現物六十六圓と兩三日伸び悩み、先物は一躍二十一仙と一仙[illegible]れ居れる[illegible]大勢は猶騰を免れまい

> ●くせ毛縮毛は唯一瓶で直る
>
> 藤本藥學士が責任を以て其效驗を確證せり
>
> 如何に容貌が艶麗でも髪が縮れ毛でバサバサして見るてはない人には申されません縮れ毛でお困りの方は効驗の最も強い而も無害にして髪結さんの秘密に使ゑるくせ毛直しテンダーをつけると即座に奇麗になり髪が艶々丈なすお黒髪となり加之頭垢脱毛を防ぎ永久に美髪を保つ非常の効能のある美髪料じあり升　定價壹圓五十錢・卅錢　美髪專用テンダー香油五十錢、送料八錢　全國の化粧品店藥店に在り　發賣元　東京銀座尾張町　大阪安土町　中南定太郎

> 京城府
>
> 一、順化院リーユーム販工事　右來ル七月十九日午前十一時入札　希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ

> 京日案內
>
> 普通一回前金七十錢　番外一回前金壹圓（二十錢增）▲申込後中途掲載中止は料金不返戻 ▲六回以上の申込は特に割引の事 ▲照會は返信附に非ざれば回答せず

> ●古本熱心高價買入 ●是非御試買を乞ふ ▲御報參上　本町二丁目　電話三一九五番

> 乳母至急入用　京城南大門通五丁目六三　電話二七六四　早川商會

> 給仕名入用　年齢十四、五歳以上二十歳以下希望者は自筆履歴書携帶來談あれ　京城黃金町通スタンダード會社

> ◎內地人筆耕生採用　自筆履歴書携帶來談あれ　京城長谷川町五八　松枝工務所

> 店員募集　運送業に經驗ある者三名、簿記に精通せる者二名自筆履歴書携帶本人來談（午前中）　京城南大門前

> 貸本讓渡　月收四十圓以上七八十圓位　小說全部ご雜誌なる得意付御希望の方は至急來談被下度　長谷川町十六　寶文堂貸本店

> 建築設計製圖　迅速　京城旭町一丁目　電話二四六五番　相澤工務所

> 各種土管新荷着　京城旭町一丁目　電長九八四番　戸澤商店

> 店員入用　簿記に經驗ある者但廿五才迄の者を望む自筆履歴書携帶本人來談　貿易商　蓬萊町一丁目　島竹次郎商店

> 吸入瓦斯エンジン　十馬力乃至二十馬力右至急買入たし　平壤本町　岩田商店

> ◎慶倫六神丸　定價二十粒五十錢　武圓百粒參圓五拾錢　但送料不要　京城長谷川町七五　中華醫院藥局　電話六七五番

> 電話讓渡　但直接需用者來談あれ　南山町一丁目十三番地ノ十一　福島

> 女子從業員（三十歳迄）及男子給仕ヲ募集ス　龍山總督府印刷所

の愛飲家に完全す　金線。銀線。青線　葡萄酒　甲州甲府市　釀造元サドヤ釀造所　朝鮮總代理店　釜山港　福榮商會

> イケダ小兒內科病院　池田季雄　京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話（病院二三四番 自宅三〇〇番）

> セキズイ藥　不肖が實驗全治の良藥あり御照會次第無代回答す　三河國豐橋市新停車場通寺部藥院主

> # 暑中御見舞
>
> ▲文房具 ▲化粧品 ▲寫眞機　商店營業品
>
> 大木商業部　全北益山郡裡里　振替口座京城五〇二八番　大阪四六八八七番
>
> 鐵工場營業品 ▲諸車 ▲農具 ▲建築材料

內容を公示して責任を明かにせる ○ミツワ家庭藥

處方明記

ミツワ家庭藥は內容を秘して徒らに萬能を說くが如き賣藥に非ず現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助劑也

特長

- 一　處方を明記し內容を公示す。
- 一　處方的確にして奏効顯著なり。
- 一　製劑精確にして効力一定不變なり。
- 一　藥品純良にして中毒の危險無し。
- 一　容器完全にして變質の虞無し。
- 一　內服藥は錠劑にして服用し易し。
- 一　價格低廉にして永く保存に耐ふ。

腦及神經の疾患に能く鎭靜の効を擧ぐる ○ミツワ鎭靜錠（みつわ・ならびやうのくすり）　百錠入 金壹圓貳拾錢

主要成分　サイミナール、ブロームナトリウム、ブロームカリウム、ブロームアムモニウム、纈草丁幾、龍膽エキス（詳細は說明書にあり）

適應症候　頭重、頭痛、頭內鬱悶、逆上、眩暈、不眠、神經過敏、神經性心悸亢進、精神興奮、神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、癲癇等

精神を使過ぎると、其の結果頭痛がしたり、腦內が鬱陶しくなつたり、逆上や眩暈に惱まされたり、眠れなかつたり、又感情が亢ぶつたりする、斯樣な病的現象を現はす所謂神經過敏症にはミツワ鎭靜錠を服むに限る。本劑は神經の病的興奮を鎭靜するのみでなく、癲癇の如き痙攣を起す病症にも良効がある。

腦病の原因となる鼻病を治癒する ○ミツワ鼻病液（みつわ・はなのくすり）　一瓶 金參拾錢

主要成分　鹽化アドレナリン、鹽酸コカイン、石炭酸、バルサムメンタ水（詳細は說明書にあり）

適應症候　鼻腔瘙痒、鼻腔乾燥、鼻汁過多、鼻閉塞、嗅覺減退、鼻粘膜腫脹、鼻粘膜潮紅、鼻充血、鼻加答兒、鼻出血、肥厚性鼻炎、臭鼻症

鼻腔が痒く、乾いたり鼻汁が盛んに出たりして、鼻が塞り、鼻聲になり、臭氣がわからず、鼻粘膜が紅く腫れ、時々鼻血の出ることがあつて、耳や咽喉の病を誘ひ出し、且神經衰弱の如き神經病を惹起す諸種の鼻加答兒には、ミツワ鼻病液を用ふるに限る、本劑は疼痛や瘙痒を鎭め、出血を止め、炎症を抑へ、分泌を制し、腫脹を減じ、高防腐の作用を呈し、臭氣を除くのである。

血の道冷性等婦人多發の病を治する ○ミツワ婦人湯藥（みつわ・ふじんのみぐすり）　八十錠 金五拾錢

主要成分　ブロームナトリウム、ブロームアムモニウム、ヨードカリウム、枸櫞酸鐵アムモニウム、鹽酸キニーネ、カスカラサグラダ、流動エキス、サフラン、川芎（詳細は說明書にあり）

適應症候　血の道、頭重き、頭痛、逆上、眩暈、貧血、月經不順、腰痛み、下腹痛み、白帶下、膣炎、子宮內膜炎、子宮外膜炎、喇叭管炎、卵巣炎、妊婦並に產後諸病

神經が敏になり、感情が變り易くなつて妄に悲觀煩悶し、頭が重く或は痛み、心悸が亢ぶり逆上せたり、眩暈などして、夜も安々と眠れぬヒステリー即ち俗に謂ふ血の道、顏色が蒼褪め、手足冷たく、食慾振はず、榮養が不足し、力が脫け便秘し易い貧血即ち冷性、月經が或は滯り或は一月に三回もあるやうな月經不順、白帶下を洩らし、腰や下腹の吊るやうに痛む子宮病、其の他膣の炎症などには處方公開のミツワ婦人湯藥を用ふるに限る煎ずる手數が無くて服み易い現代的模範婦人藥である。

白帶下其他婦人生殖器病に卓効ある ○ミツワ婦人坐藥（みつわ・ふじんびやうのくすり）　六個 金五拾錢

主要成分　プロテイン銀、ツメノール（詳細は說明書にあり）

適應症候　白帶下、膣加答兒、子宮內膜炎、子宮外膜炎、子宮炎、喇叭管炎、卵巣炎

月經中や產後の不攝生、感冒又は淋疾などから起つて、白帶下を洩らし、腰から股が吊るやうに痛み、又下腹が押られるやうに痛みなごする婦人生殖器病には、ミツワ婦人坐藥を毎夜一箇宛挿入し、翌朝ミツワ硼酸錠を溶かしたもので洗ふと卓効がある、それに兼てミツワ婦人湯藥を內服すれば効驗は尚一層著しい。

家庭治療法（定價五拾錢）を郵券にて拂込あれば卒呈す

眼結膜諸症に消炎鎭痛等の効ある ○ミツワ蟄蟲液（みつわ・むしのさゝれ）　點眼器附入 金拾五錢

主要成分　硫酸亞鉛、鹽化アムモニウム、龍腦カンフル（詳細は說明書にあり）

適應症候　眼瞼潮紅、眼瞼腫脹、結膜充血、淚液分泌亢進、羞明、眼瘙痒、眼灼熱、眼疲勞、眼內異物感、急性結膜炎、トラホーム

眼瞼が腫れ結膜も腫て紅くなり、淚液が多く出て、羞明しく或は痒く或は熱く或は痛み、眼の內に何か入つて居るやうにコロ／＼するなどの症候を現はす諸種の眼病には、ミツワ硼酸錠を溶かし、それで洗ふなりして處方公開のミツワ點眼液を用ふるに限る、本劑は分泌を止め消毒の作用のあるものを主として配合し、それに炎症を消し疼痛を鎭める有效藥を配加へたものである。

齲齒其の他に因る齒痛を止むる ○ミツワ齒痛液（みつわ・はのくすり）　一瓶 金貳拾錢

主要成分　精製カンフル、クレオソート、メントール、丁子油、エーテル（詳細は說明書にあり）

適應症候　齲齒より起る疼痛、溫熱過冷、又甘味の飲食物に起る齒痛の如き齒の痛み。

齲齒が出來ると、痛むことが屢々あるが、齲齒がなくても熱過ぎ又冷た過ぎる飲食物、甘い又酢い飲食物、硬い物などの爲に齒の痛むことがある、其の痛みの場合には、ミツワ含嗽錠を溶かして含嗽をなしミツワ齒痛液を塗るに限る

旅行の場合何人も必ず携帶すべき ○ミツワ點眼液（みつわ・めぐすり）　一瓶 金二十錢

主要成分　アムモニア水、メントール、薄荷油、酒精（詳細は說明書にあり）

適應症候　蜂、虻、蚋、蟻、蚊、蚤、虱、床蟲、毛蟲、蜈、蛇等總て蟲類に刺されたる場合

蜂、虻、蚋、蟻、蚊、蚤、虱、床蟲、毛蟲、蜈、蛇等、總て蟲類に螫されたとき、直に處方公開のミツワ螫蟲液を塗ると、其の蟲類ハ毒を消して、毒の深く入らぬやうにし、疼痛や痒みを鎭め炎症を抑へ、防腐消毒の効驗を現はすのである、それ故誰でも本劑を常に備へ置くべきは勿論のこと、旅行殊に未開の地へ行く際には必ず携帶せねばならぬ。

ミツワ家庭藥の種類と定價（內地以外は[illegible]）

品名	數量	定價	品名	數量	定價
ミツワ健胃錠	三十錠／百錠	[illegible]	ミツワ鎭靜錠	[illegible]	[illegible]
ミツワ消化錠	三百錠	[illegible]	ミツワ[illegible]	[illegible]	[illegible]
ミツワ制酸錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ[illegible]	[illegible]	[illegible]
ミツワ緩下錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ[illegible]液	[illegible]	[illegible]
ミツワ止瀉錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ鼻病液	一瓶	[illegible]
ミツワ解凝錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ[illegible]液	一瓶	[illegible]
ミツワ[illegible]錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ含嗽錠	[illegible]	[illegible]
ミツワ清涼劑	[illegible]	[illegible]	ミツワ[illegible]	[illegible]	[illegible]
ミツワ解熱錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ[illegible]液	一瓶	[illegible]
ミツワ[illegible]錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ[illegible]液	一瓶	[illegible]
ミツワ鎭咳錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ[illegible]	一瓶	[illegible]
ミツワ[illegible]錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ[illegible]	[illegible]	[illegible]
ミツワ人參錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ[illegible]	一	[illegible]
ミツワ[illegible]人參錠	[illegible]	[illegible]	ミツワ[illegible]	一	[illegible]
ミツワ婦人湯藥	八十錠	五拾錢	ミツワ[illegible]	一	[illegible]
ミツワ婦人坐藥	六個	五拾錢	ミツワ[illegible]	六	[illegible]